

豊山町

地域福祉計画・地域福祉活動計画

各種データ結果まとめ

(2023年度 町民アンケート結果、団体アンケート結果、基礎データ)

令和5年10月

愛知県 豊山町

目次

I 町民アンケート調査結果(速報値)について

| | |
|----------------------|----|
| 1 調査の目的 | 1 |
| 2 調査概要 | 1 |
| 3 学区別回収状況 | 2 |
| 4 アンケート結果(抜粋) | 3 |
| 5 アンケート結果(まとめ) | 23 |

II 団体アンケート調査結果

| | |
|-----------------------------------|----|
| 1 調査の目的 | 35 |
| 2 調査概要 | 35 |
| 3 団体アンケートまとめ(アンケート設問より一部抜粋) | 36 |

III 豊山町基礎データ

| | |
|---------------------|----|
| 1 豊山町基礎データまとめ | 37 |
| 2 豊山町基礎データ資料 | 38 |

I 町民アンケート調査結果(速報値)について

1 調査の目的

本調査は、「第4次豊山町地域福祉計画・地域福祉活動計画」策定のため、地域の福祉活動に関する状況や今後の参加意向、現在の福祉サービスについての意識等を把握し、計画づくりの基礎資料とするために実施しました。

2 調査概要

(1) 調査対象及び調査方法

| | |
|------|--|
| 調査対象 | 町内在住の成人 ※地域特性調査をするため、豊山、新栄、志水小学校区をそれぞれで抽出 |
| 配布数 | 2,000 |
| 抽出法 | 無作為抽出 |
| 調査方法 | 郵送法 |
| 調査時期 | 令和5年7月21日(金)～同年8月10日(木) |
| 調査地域 | 豊山町全域 |

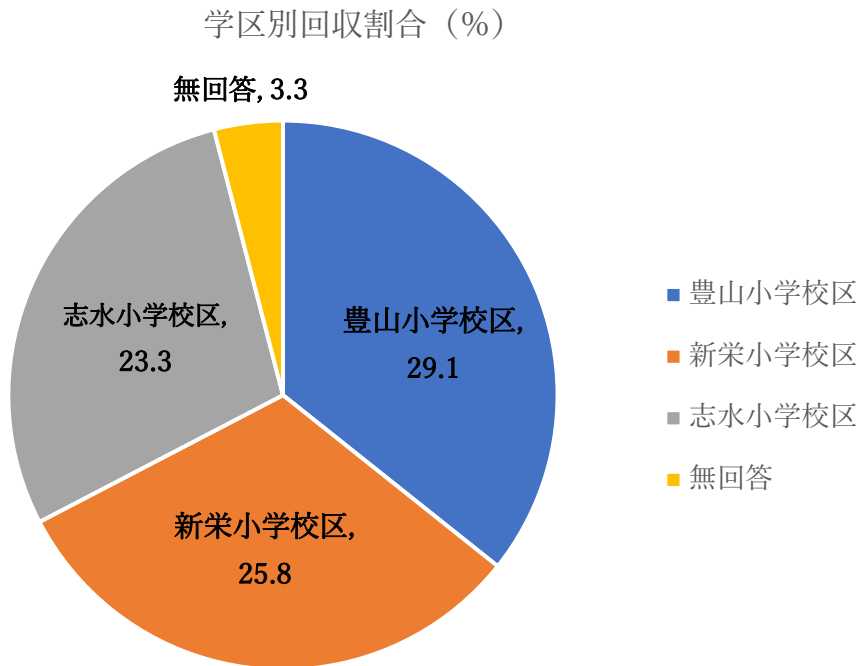
(2) 配布数及び回収結果

| 対象者 | 配布数 (件) | 有効回収数 (件) | 有効回収率 (%) |
|--|------------|--------------|--------------|
| 豊山町内在住の成人の方を無作為抽出 ※豊山、新栄、志水小学校区をそれぞれで抽出 | 2,000 | 539 | 27.0 |

3 学区別回収状況

◆学区別回収割合

全体 539 件：豊山小学校区 194 件、新栄小学校区 172 件、志水小学校区 155 件、無回答 18 件



4 アンケート結果（抜粋）

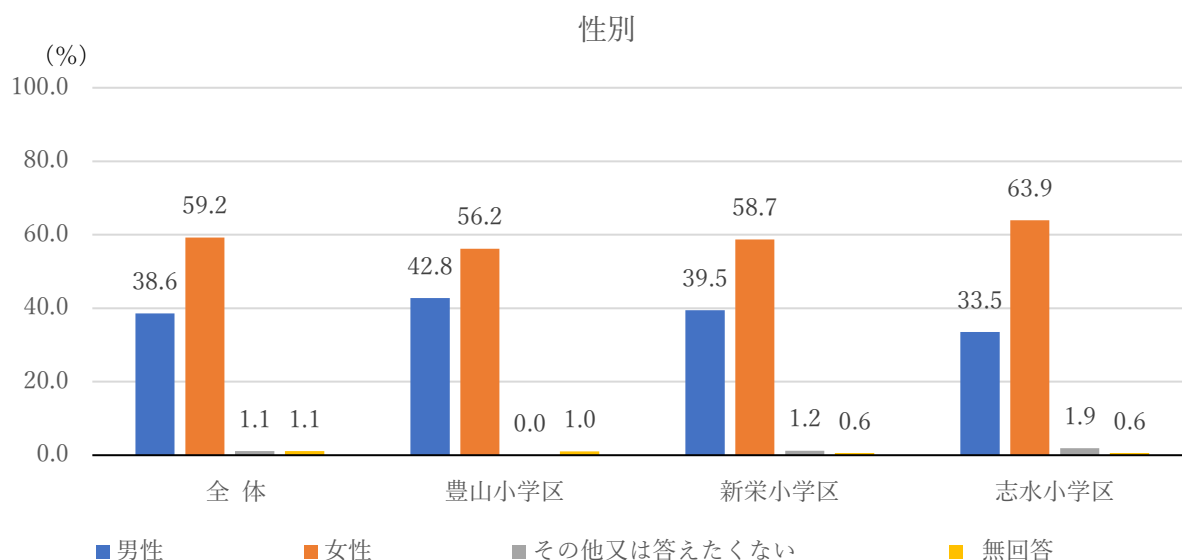
（1）属性について

◆回答者の性別では「女性」が多い（59.2%）

回答者の性別については、「女性」が59.2%、「男性」が38.6%。
学区別で見ると、すべての学区で「女性」が最も多くなっている。

単位 (%)

| | 回答数 (件) | 男性 | 女性 | その他又は答えたくない | 無回答 |
|-------|------------|------|------|-------------|-----|
| 全 体 | 539 | 38.6 | 59.2 | 1.1 | 1.1 |
| 豊山小学区 | 194 | 42.8 | 56.2 | 0.0 | 1.0 |
| 新栄小学区 | 172 | 39.5 | 58.7 | 1.2 | 0.6 |
| 志水小学区 | 155 | 33.5 | 63.9 | 1.9 | 0.6 |



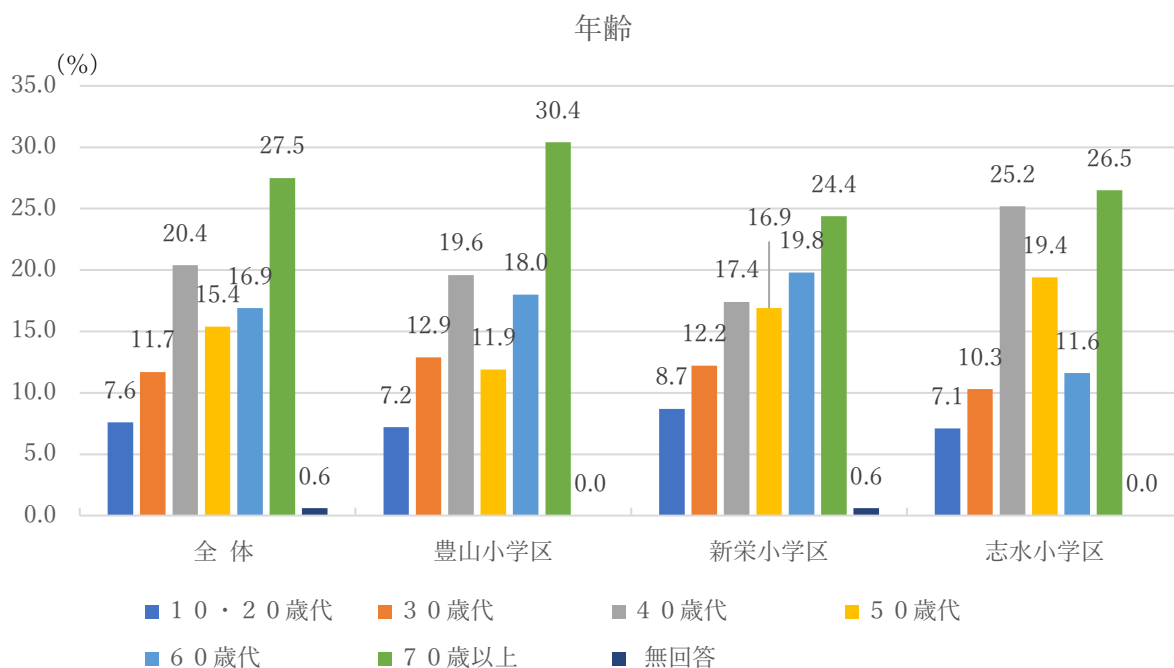
◆回答者の年齢では「70歳以上」が約3割と多く、次いで「40歳代」が2割

回答者の年齢については、「70歳以上」が27.5%と最も多く、次いで「40歳代」が20.4%となっている。

学区別で見ると、すべての学区で「70歳以上」が最も多い。次いで多いのは、豊山、志水小学区で「40歳代」、新栄小学区で「60歳代」となっている。

単位 (%)

| | 回答数 (件) | 10・20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳以上 | 無回答 |
|-------|------------|---------|------|------|------|------|-------|-----|
| 全体 | 539 | 7.6 | 11.7 | 20.4 | 15.4 | 16.9 | 27.5 | 0.6 |
| 豊山小学区 | 194 | 7.2 | 12.9 | 19.6 | 11.9 | 18.0 | 30.4 | 0.0 |
| 新栄小学区 | 172 | 8.7 | 12.2 | 17.4 | 16.9 | 19.8 | 24.4 | 0.6 |
| 志水小学区 | 155 | 7.1 | 10.3 | 25.2 | 19.4 | 11.6 | 26.5 | 0.0 |



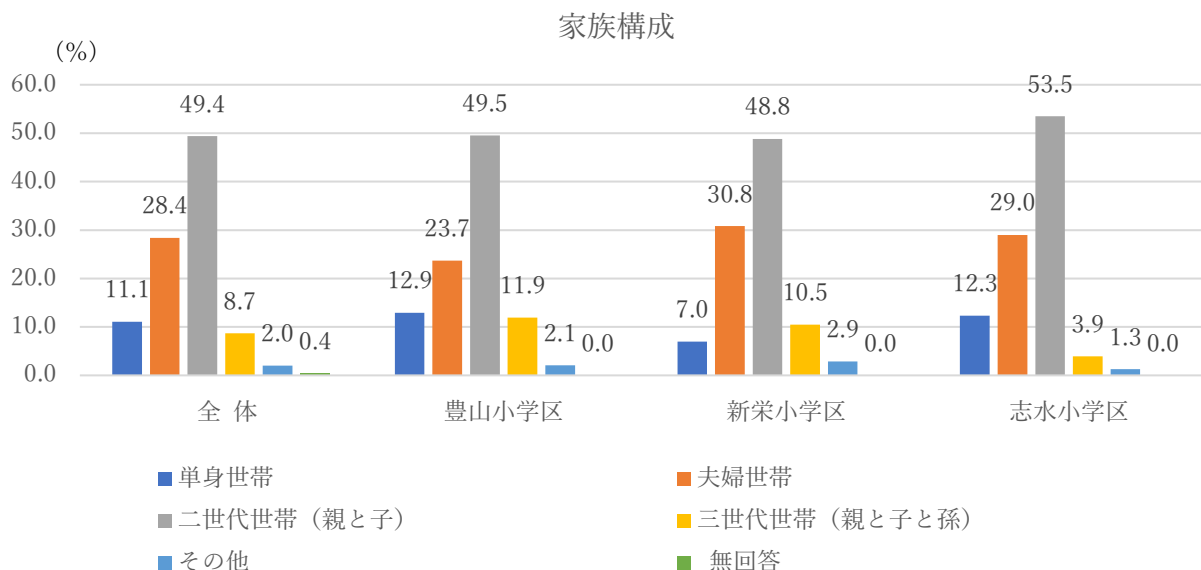
◆回答者の家族構成では「二世世代世帯（親と子）」が約5割と多い

回答者の家族構成については、「二世世代世帯（親と子）」が49.4%と最も多く、次いで「夫婦世帯」が28.4%となっている。

学区別で見ると、すべての学区で「二世世代世帯（親と子）」が最も多く、次いで「夫婦世帯」となっている。

単位 (%)

| | 回答数 (件) | 単身世帯 | 夫婦世帯 | 二世世代世帯 (親と子) | 三世世代世帯 (親と子と孫) | その他 | 無回答 |
|-------|------------|------|------|-----------------|-------------------|-----|-----|
| 全 体 | 539 | 11.1 | 28.4 | 49.4 | 8.7 | 2.0 | 0.4 |
| 豊山小学区 | 194 | 12.9 | 23.7 | 49.5 | 11.9 | 2.1 | 0.0 |
| 新栄小学区 | 172 | 7.0 | 30.8 | 48.8 | 10.5 | 2.9 | 0.0 |
| 志水小学区 | 155 | 12.3 | 29.0 | 53.5 | 3.9 | 1.3 | 0.0 |



(2) 日常生活について

問2 あなたは隣近所の方と、どの程度の付き合いがありますか。(〇は1つ)

◆「顔が会えばあいさつする」 61.8% (前回 57.7%より 4.1ポイントアップ)

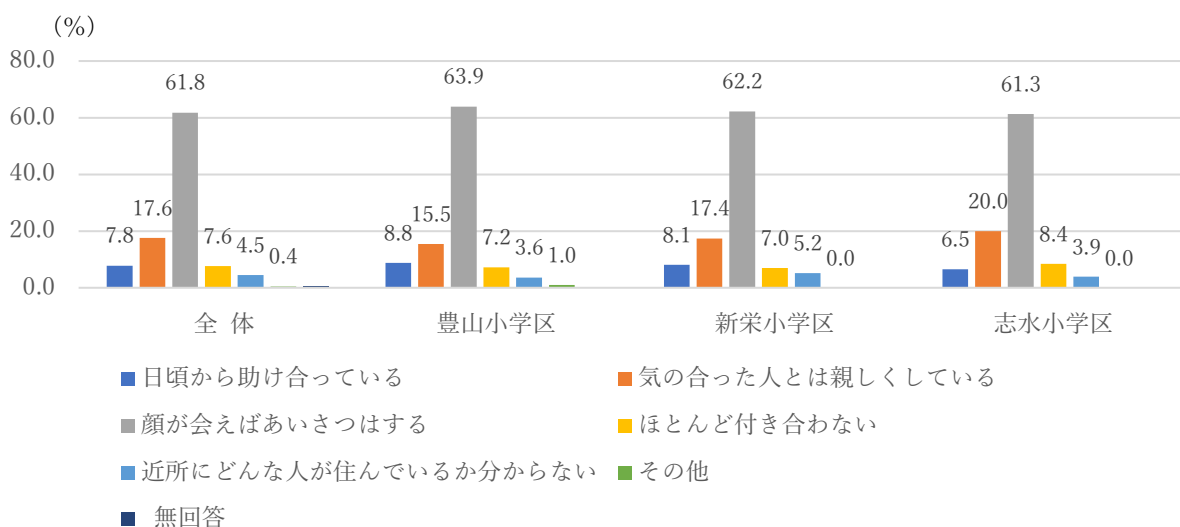
近所との付き合い程度については、「顔が会えばあいさつはする」が61.8%と最も多く、次いで「気の合った人とは親しくしている」が17.6% (前回 19.4%)、「日頃から助け合っている」が7.8% (前回 10.2%) となった。

学区別でみると、すべての学区で「顔が会えばあいさつはする」が最も多く、次いで「気の合った人とは親しくしている」となっている。

単位 (%)

| | 回答数 (件) | 日頃から助け合っている | 気の合った人とは親しくしている | 顔が会えばあいさつはする | ほとんど付き合わない | 近所にどんな人が住んでいるか分からない | その他 | 無回答 |
|-------|------------|-------------|-----------------|--------------|------------|---------------------|-----|-----|
| 全体 | 539 | 7.8 | 17.6 | 61.8 | 7.6 | 4.5 | 0.4 | 0.4 |
| 豊山小学区 | 194 | 8.8 | 15.5 | 63.9 | 7.2 | 3.6 | 1.0 | 0.0 |
| 新栄小学区 | 172 | 8.1 | 17.4 | 62.2 | 7.0 | 5.2 | 0.0 | 0.0 |
| 志水小学区 | 155 | 6.5 | 20.0 | 61.3 | 8.4 | 3.9 | 0.0 | 0.0 |

隣近所の方と、どの程度の付き合いがありますか



問8 あなたは、自分にとって必要な介護や健康、子育てなどに関する福祉サービスの情報をどの程度、入手できていますか。(〇は1つ)

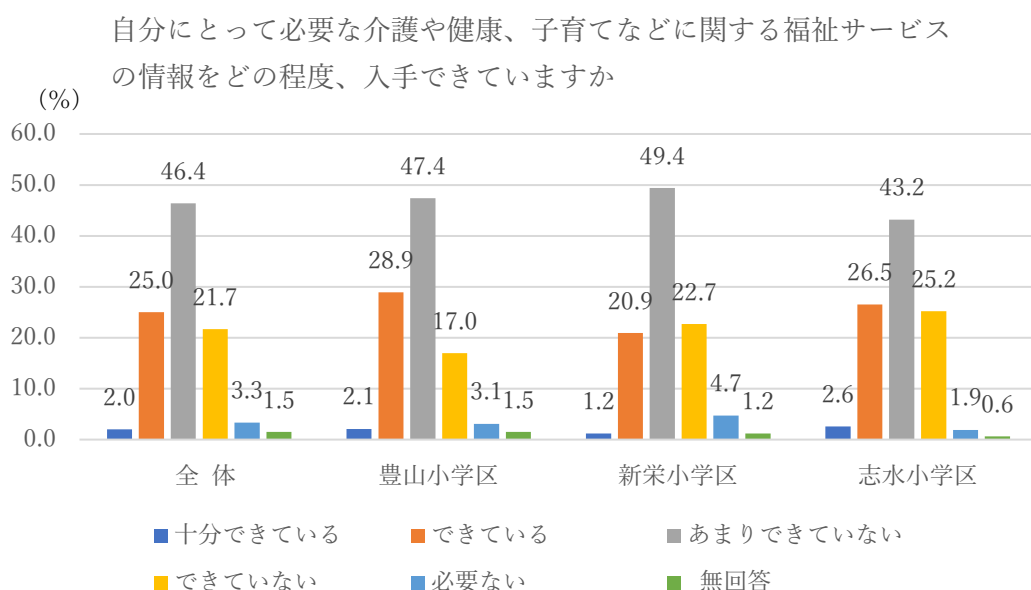
◆「十分できている」「できている」合わせて27.0% (前回23.3%より3.7ポイントアップ)

福祉サービスの情報の入手については、「あまりできていない」が46.4% (前回44.8%) と最も多く、次いで「できている」が25.0% (前回21.0%)、「できていない」が21.7% (前回25.5%) となった。

学区別で見ると、すべての学区で「あまりできていない」が最も多く、次いで豊山、志水小学区で「できている」、新栄小学区で「できていない」となっている。

単位 (%)

| | 回答数 (件) | 十分 できている | でき ている | あまり できて いない | でき てい ない | 必要 ない | 無 回 答 |
|-------|------------|-------------|-----------|-------------------|----------------|----------|-------------|
| 全 体 | 539 | 2.0 | 25.0 | 46.4 | 21.7 | 3.3 | 1.5 |
| 豊山小学区 | 194 | 2.1 | 28.9 | 47.4 | 17.0 | 3.1 | 1.5 |
| 新栄小学区 | 172 | 1.2 | 20.9 | 49.4 | 22.7 | 4.7 | 1.2 |
| 志水小学区 | 155 | 2.6 | 26.5 | 43.2 | 25.2 | 1.9 | 0.6 |



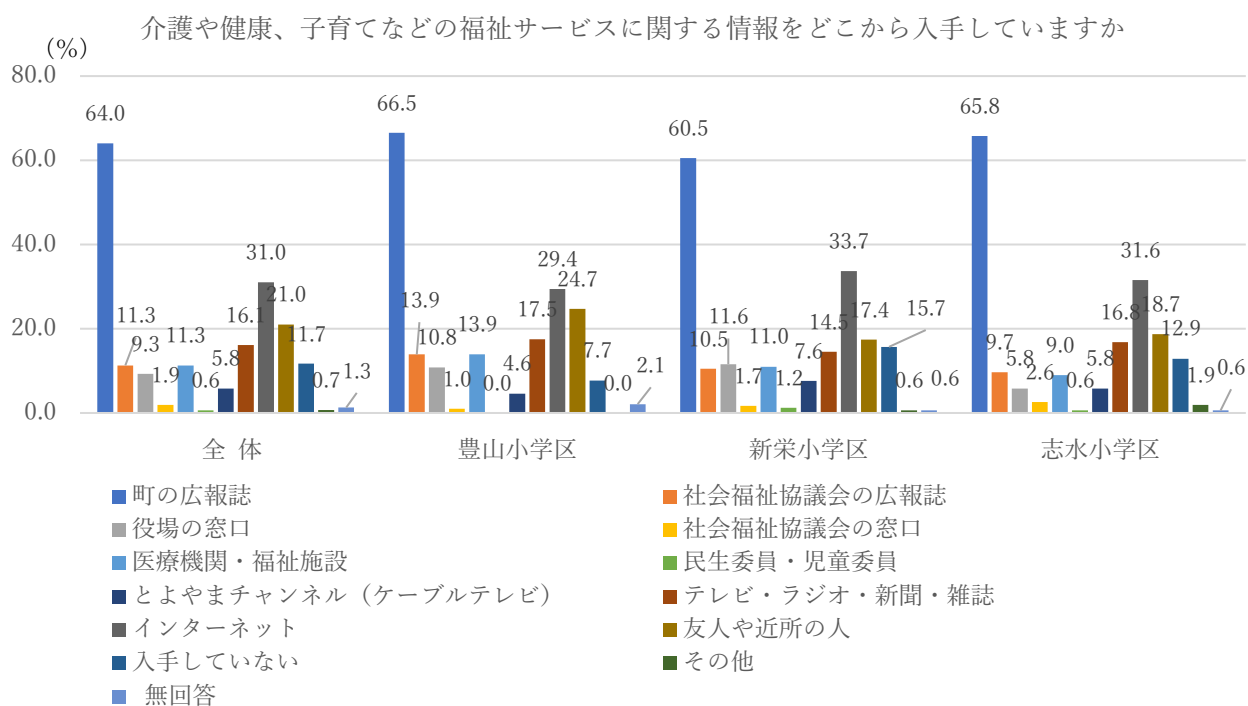
問9 あなたは介護や健康、子育てなどの福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。
(〇はいくつでも)

◆福祉サービスに関する情報の入手先 「町の広報誌」が64.0%
(前回57.9%より6.1ポイントアップ)

福祉サービスに関する情報の入手先については、「町の広報誌」が64.0%と最も多く、次いで「インターネット」が31.0%（前回21.1%）、「友人や近所の人」が21.0%（前回22.3%）となった。前回調査と比較すると、「インターネット」は9.9ポイント増加した。

学区別でみると、すべての学区で「町の広報誌」が最も多く、次いで「インターネット」となっている。また、豊山小学区では「友人や近所の人」も多くなっている。

| | | 単位 (%) | | | | | | | | | | | | |
|-------|---------|--------|-------------|-------|------------|-----------|-----------|--------------------|---------------|---------|---------|---------|-----|-----|
| | 回答数 (件) | 町の広報誌 | 社会福祉協議会の広報誌 | 役場の窓口 | 社会福祉協議会の窓口 | 医療機関・福祉施設 | 民生委員・児童委員 | とよまチャンネル (ケーブルテレビ) | テレビ・ラジオ・新聞・雑誌 | インターネット | 友人や近所の人 | 入手していない | その他 | 無回答 |
| 全体 | 539 | 64.0 | 11.3 | 9.3 | 1.9 | 11.3 | 0.6 | 5.8 | 16.1 | 31.0 | 21.0 | 11.7 | 0.7 | 1.3 |
| 豊山小学区 | 194 | 66.5 | 13.9 | 10.8 | 1.0 | 13.9 | 0.0 | 4.6 | 17.5 | 29.4 | 24.7 | 7.7 | 0.0 | 2.1 |
| 新栄小学区 | 172 | 60.5 | 10.5 | 11.6 | 1.7 | 11.0 | 1.2 | 7.6 | 14.5 | 33.7 | 17.4 | 15.7 | 0.6 | 0.6 |
| 志水小学区 | 155 | 65.8 | 9.7 | 5.8 | 2.6 | 9.0 | 0.6 | 5.8 | 16.8 | 31.6 | 18.7 | 12.9 | 1.9 | 0.6 |



(3) 災害時の助け合いについて

問 10 防災に対する取組みや、緊急時の対応についてお答えください。(〇はそれぞれ1つ)

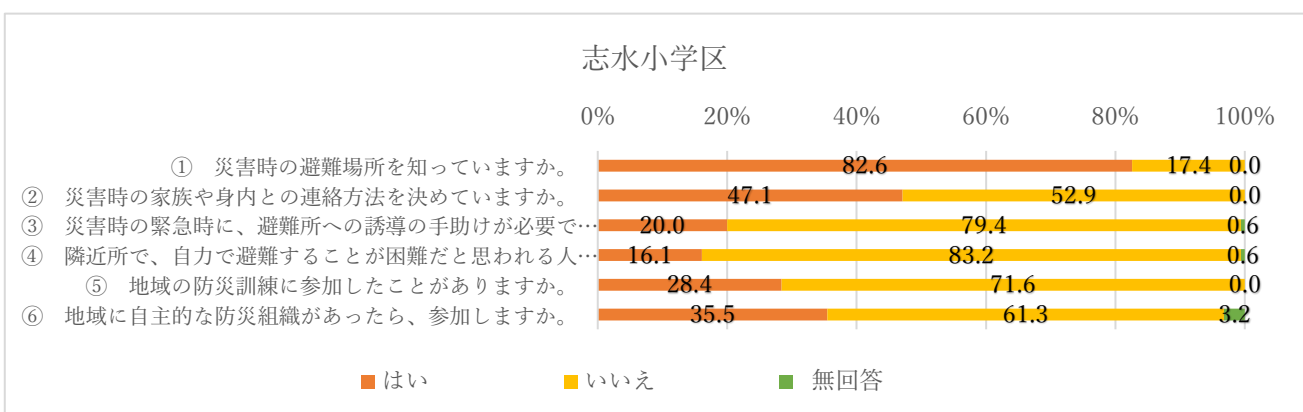
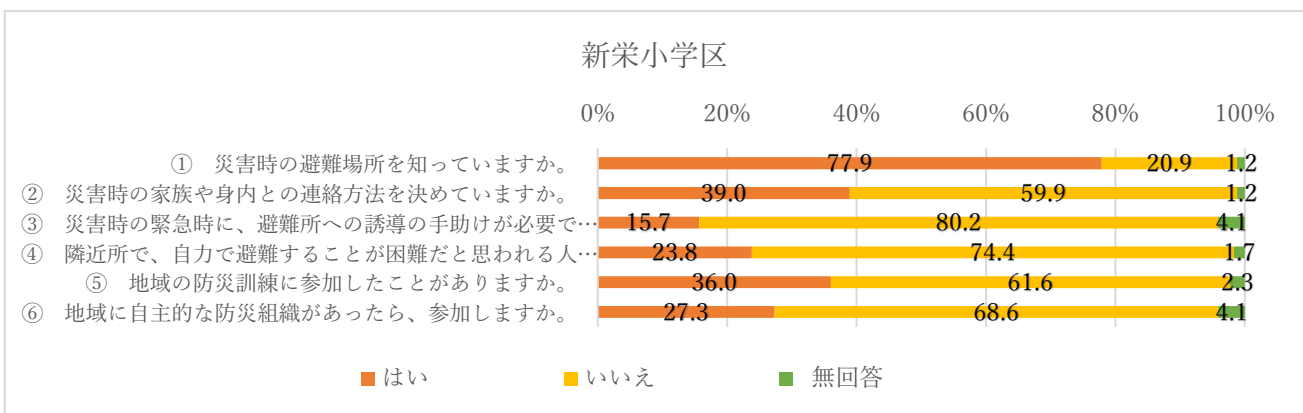
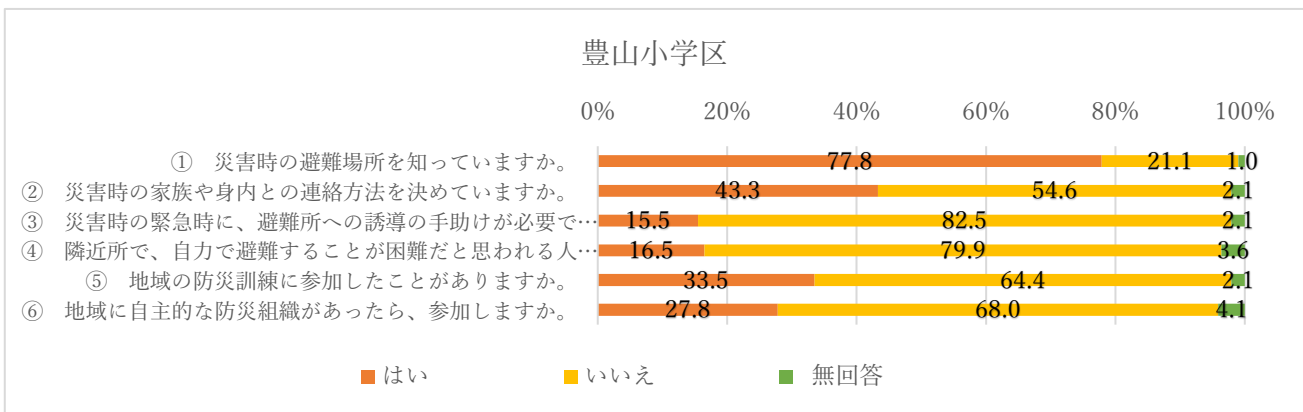
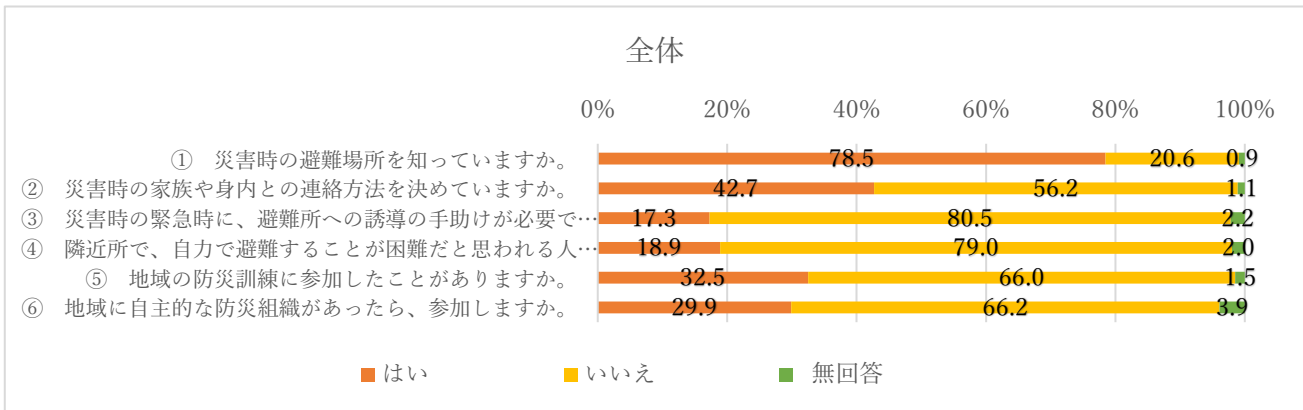
◆「災害時の避難場所を知っている」78.5% (前回 76.3%から 2.2 ポイントアップ)

防災に対する取組みや緊急時の対応については、「はい」と回答した人の最も多いものは「災害時の避難場所を知っていますか」(78.5%)、次いで「災害時の家族や身内との連絡方法を決めていますか」が42.7%(前回 39.4%)、「地域の防災訓練に参加したことがありますか」が32.5%(前回 32.5%)となった。

学区別でみると、すべての学区で「はい」と回答した人の最も多いものは「災害時の避難場所を知っていますか」。また、「災害時の避難場所を知っている」以外の設問では、「いいえ」の回答の割合が多い傾向にある。

単位 (%)

| | | 回答数 | はい | いいえ | 無回答 |
|-----------|---|-----|------|------|-----|
| 全体 | ① 災害時の避難場所を知っていますか。 | 539 | 78.5 | 20.6 | 0.9 |
| | ② 災害時の家族や身内との連絡方法を決めていますか。 | 539 | 42.7 | 56.2 | 1.1 |
| | ③ 災害時の緊急時に、避難所への誘導の手助けが必要ですか。 | 539 | 17.3 | 80.5 | 2.2 |
| | ④ 隣近所で、自力で避難することが困難だと思われる人を知っていますか。 (ひとり暮らしの高齢者や障がいのある人など) | 539 | 18.9 | 79.0 | 2.0 |
| | ⑤ 地域の防災訓練に参加したことがありますか。 | 539 | 32.5 | 66.0 | 1.5 |
| | ⑥ 地域に自主的な防災組織があったら、参加しますか。 | 539 | 29.9 | 66.2 | 3.9 |
| 豊山 小学区 | ① 災害時の避難場所を知っていますか。 | 194 | 77.8 | 21.1 | 1.0 |
| | ② 災害時の家族や身内との連絡方法を決めていますか。 | 194 | 43.3 | 54.6 | 2.1 |
| | ③ 災害時の緊急時に、避難所への誘導の手助けが必要ですか。 | 194 | 15.5 | 82.5 | 2.1 |
| | ④ 隣近所で、自力で避難することが困難だと思われる人を知っていますか。 (ひとり暮らしの高齢者や障がいのある人など) | 194 | 16.5 | 79.9 | 3.6 |
| | ⑤ 地域の防災訓練に参加したことがありますか。 | 194 | 33.5 | 64.4 | 2.1 |
| | ⑥ 地域に自主的な防災組織があったら、参加しますか。 | 194 | 27.8 | 68.0 | 4.1 |
| 新栄 小学区 | ① 災害時の避難場所を知っていますか。 | 172 | 77.9 | 20.9 | 1.2 |
| | ② 災害時の家族や身内との連絡方法を決めていますか。 | 172 | 39.0 | 59.9 | 1.2 |
| | ③ 災害時の緊急時に、避難所への誘導の手助けが必要ですか。 | 172 | 15.7 | 80.2 | 4.1 |
| | ④ 隣近所で、自力で避難することが困難だと思われる人を知っていますか。 (ひとり暮らしの高齢者や障がいのある人など) | 172 | 23.8 | 74.4 | 1.7 |
| | ⑤ 地域の防災訓練に参加したことがありますか。 | 172 | 36.0 | 61.6 | 2.3 |
| | ⑥ 地域に自主的な防災組織があったら、参加しますか。 | 172 | 27.3 | 68.6 | 4.1 |
| 志水 小学区 | ① 災害時の避難場所を知っていますか。 | 155 | 82.6 | 17.4 | 0.0 |
| | ② 災害時の家族や身内との連絡方法を決めていますか。 | 155 | 47.1 | 52.9 | 0.0 |
| | ③ 災害時の緊急時に、避難所への誘導の手助けが必要ですか。 | 155 | 20.0 | 79.4 | 0.6 |
| | ④ 隣近所で、自力で避難することが困難だと思われる人を知っていますか。 (ひとり暮らしの高齢者や障がいのある人など) | 155 | 16.1 | 83.2 | 0.6 |
| | ⑤ 地域の防災訓練に参加したことがありますか。 | 155 | 28.4 | 71.6 | 0.0 |
| | ⑥ 地域に自主的な防災組織があったら、参加しますか。 | 155 | 35.5 | 61.3 | 3.2 |



(4) 地域活動やボランティア活動について

問 13 あなたはボランティア活動をしていますか。(〇はそれぞれ1つ)

◆「活動したことはなく、今後も活動したいとは思わない」が 41.2%
(前回 52.9%より 11.7 ポイントダウン)

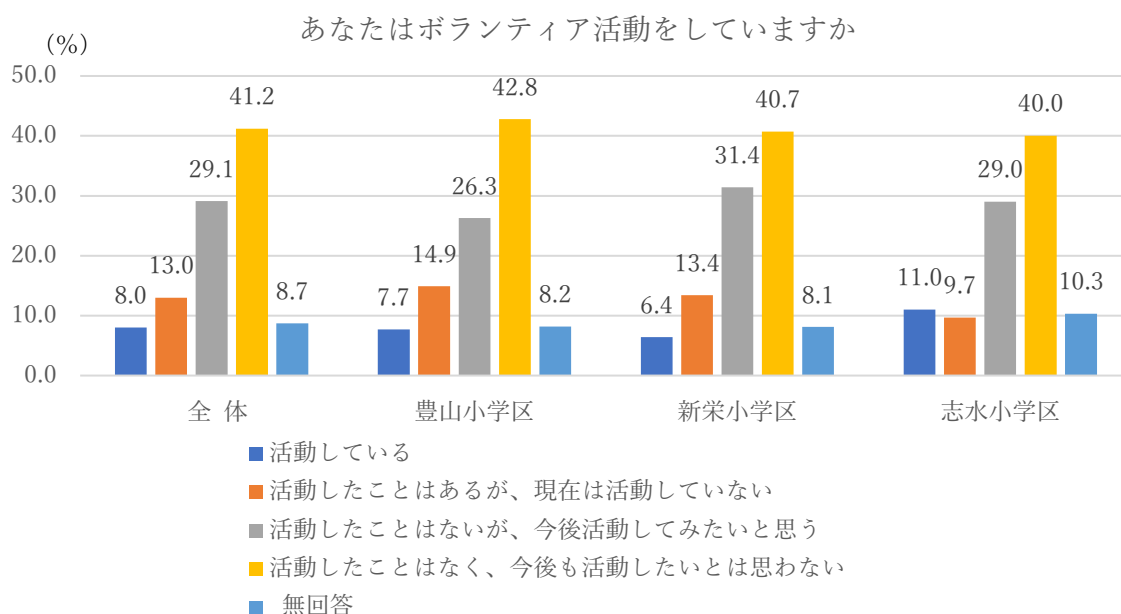
ボランティア活動については、「活動したことはなく、今後も活動したいとは思わない」が 41.2%と最も多く、次いで「活動したことはないが、今後活動してみたいと思う」が 29.1%。

前回調査と比べてみると、「活動したことはなく、今後も活動したいとは思わない」が 11.7 ポイント減少した。

学区別でみると、すべての学区で「活動したことはなく、今後も活動したいとは思わない」が最も多い。次いで「活動したことはないが、今後活動してみたいと思う」。

単位 (%)

| | 回答数(件) | 活動している | 活動したことはあるが、現在は活動していない | 活動したことはないが、今後活動してみたいと思う | 活動したことはなく、今後も活動したいとは思わない | 無回答 |
|-------|--------|--------|-----------------------|-------------------------|--------------------------|------|
| 全体 | 539 | 8.0 | 13.0 | 29.1 | 41.2 | 8.7 |
| 豊山小学区 | 194 | 7.7 | 14.9 | 26.3 | 42.8 | 8.2 |
| 新栄小学区 | 172 | 6.4 | 13.4 | 31.4 | 40.7 | 8.1 |
| 志水小学区 | 155 | 11.0 | 9.7 | 29.0 | 40.0 | 10.3 |



問 13-2 ボランティア活動の継続や、参加しやすいようにするための必要な条件はどのようなこと
だと思えますか。(〇は3つまで)

※問 13 で「活動している」「活動したことはあるが、現在は活動していない」と回答した方

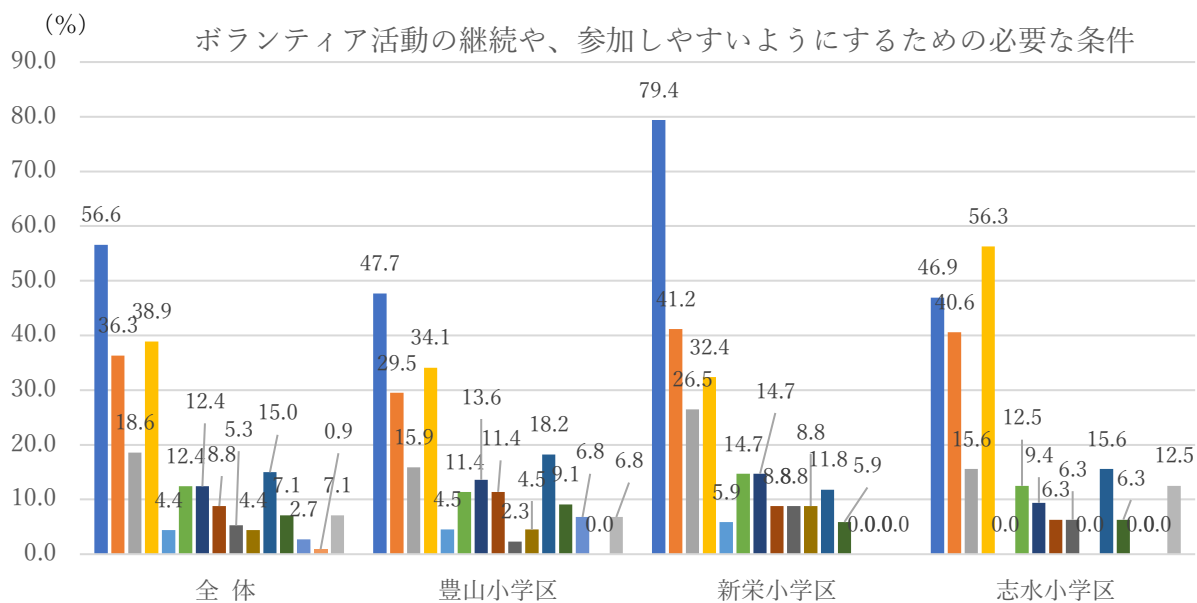
- ◆ 「時間的、経済的にゆとりがある」 56.6% (前回 64.7%から 8.1 ポイントダウン)
- 「ともに活動する仲間や友人がいる」 38.9% (前回 31.7%から 7.2 ポイントアップ)
- 「自分や家族が健康でいられる」 36.3% (前回 39.9%から 3.6 ポイントダウン)

ボランティア活動の継続や参加に必要な条件については、「時間的、経済的にゆとりがある」が 56.6%と最も多く、次いで「ともに活動する仲間や友人がいる」が 38.9%、「自分や家族が健康でいられる」が 36.3%となった。

学区別でみると、豊山小学区と新栄小学区では「時間的、経済的にゆとりがある」、志水小学区では「ともに活動する仲間や友人がいる」が最も多く、次いで豊山小学区では「ともに活動する仲間や友人がいる」、新栄小学区では「自分や家族が健康でいられる」、志水小学区では「時間的・経済的にゆとりがある」と回答が分かれている。

単位 (%)

| | 回答数 (件) | 時間的・経済的にゆとりがある | 自分や家族が健康でいられる | 周り(家族や職場)の理解が得られる | ともに活動する仲間や友人がいる | 活動に関する知識や経験がある | 自分の趣味や特技が活かせる | 知識や技術を学べる機会や体験の機会がある | 生きがいや充実感が得られる | 行政や社会福祉協議会の福祉活動への積極的な援助 | 活動や組織の情報が入手しやすい | 自分の好きな時間にできる活動内容 | 活動に少しの報酬がある(有償ボランティア) | わからない | その他 | 無回答 |
|-------|------------|----------------|---------------|-------------------|-----------------|----------------|---------------|----------------------|---------------|-------------------------|-----------------|------------------|-----------------------|-------|-----|------|
| 全 体 | 113 | 56.6 | 36.3 | 18.6 | 38.9 | 4.4 | 12.4 | 12.4 | 8.8 | 5.3 | 4.4 | 15.0 | 7.1 | 2.7 | 0.9 | 7.1 |
| 豊山小学区 | 44 | 47.7 | 29.5 | 15.9 | 34.1 | 4.5 | 11.4 | 13.6 | 11.4 | 2.3 | 4.5 | 18.2 | 9.1 | 6.8 | 0.0 | 6.8 |
| 新栄小学区 | 34 | 79.4 | 41.2 | 26.5 | 32.4 | 5.9 | 14.7 | 14.7 | 8.8 | 8.8 | 8.8 | 11.8 | 5.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 志水小学区 | 32 | 46.9 | 40.6 | 15.6 | 56.3 | 0.0 | 12.5 | 9.4 | 6.3 | 6.3 | 0.0 | 15.6 | 6.3 | 0.0 | 0.0 | 12.5 |



- 時間的・経済的にゆとりがある
- 自分や家族が健康でいられる
- 周り（家族や職場）の理解が得られる
- とともに活動する仲間や友人がいる
- 活動に関する知識や経験がある
- 自分の趣味や特技が活かせる
- 知識や技術を学べる機会や体験の機会がある
- 生きがいや充実感が得られる
- 行政や社会福祉協議会の福祉活動への積極的な援助
- 活動や組織の情報が入手しやすい
- 自分の好きな時間にできる活動内容
- 活動に少しの報酬がある（有償ボランティア）
- わからない
- その他
- 無回答

問 13-3 ボランティア活動をしていない主な理由は何ですか。(〇は1つ)【新規】

※問 13 で「活動したことはないが、今後活動してみたいと思う」と回答した方

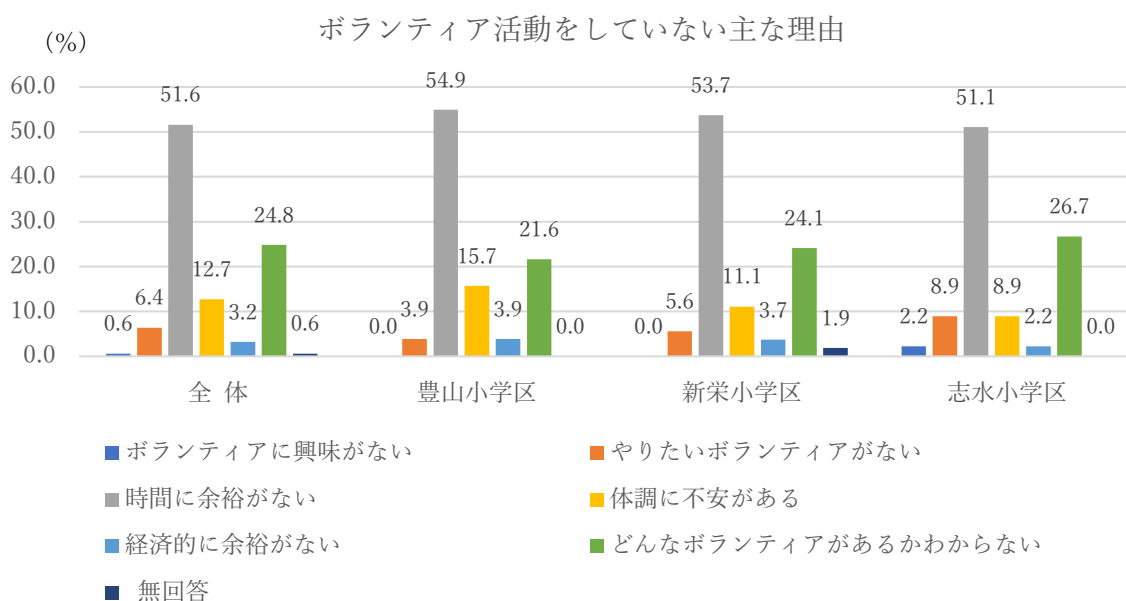
- ◆ 「時間に余裕がない」 51.6%
- 「どんなボランティアがあるかわからない」 24.8%

ボランティア活動をしていない理由については、「時間に余裕がない」が51.6%と最も多く、次いで「どんなボランティアがあるかわからない」が24.8%と約3割を占める。

学区別でみると、すべての学区で「時間に余裕がない」が最も多く、次いで「どんなボランティアがあるかわからない」となっている。

単位 (%)

| | 回答数 (件) | ボランティアに興味がない | やりたいボランティアがない | 時間に余裕がない | 体調に不安がある | 経済的に余裕がない | どんなボランティアがあるかわからない | 無回答 |
|-------|------------|--------------|---------------|----------|----------|-----------|--------------------|-----|
| 全 体 | 157 | 0.6 | 6.4 | 51.6 | 12.7 | 3.2 | 24.8 | 0.6 |
| 豊山小学区 | 51 | 0.0 | 3.9 | 54.9 | 15.7 | 3.9 | 21.6 | 0.0 |
| 新栄小学区 | 54 | 0.0 | 5.6 | 53.7 | 11.1 | 3.7 | 24.1 | 1.9 |
| 志水小学区 | 45 | 2.2 | 8.9 | 51.1 | 8.9 | 2.2 | 26.7 | 0.0 |



(5) 豊山町の福祉サービスについて

問 16 今後、より住みやすい地域とするために、どのような取り組みが重要だと思いますか。
(〇は3つまで)

- ◆ 「安全で快適な生活環境にするための活動」 37.7% (前回 30.5%)
- 「介護者や介護を必要とする方への支援」 34.1% (前回 36.2%)
- 「子育てに関する支援」 33.6% (前回 27.7%)
- 「一人暮らしや高齢者など的高齢者への支援」 33.2% (前回 37.6%)

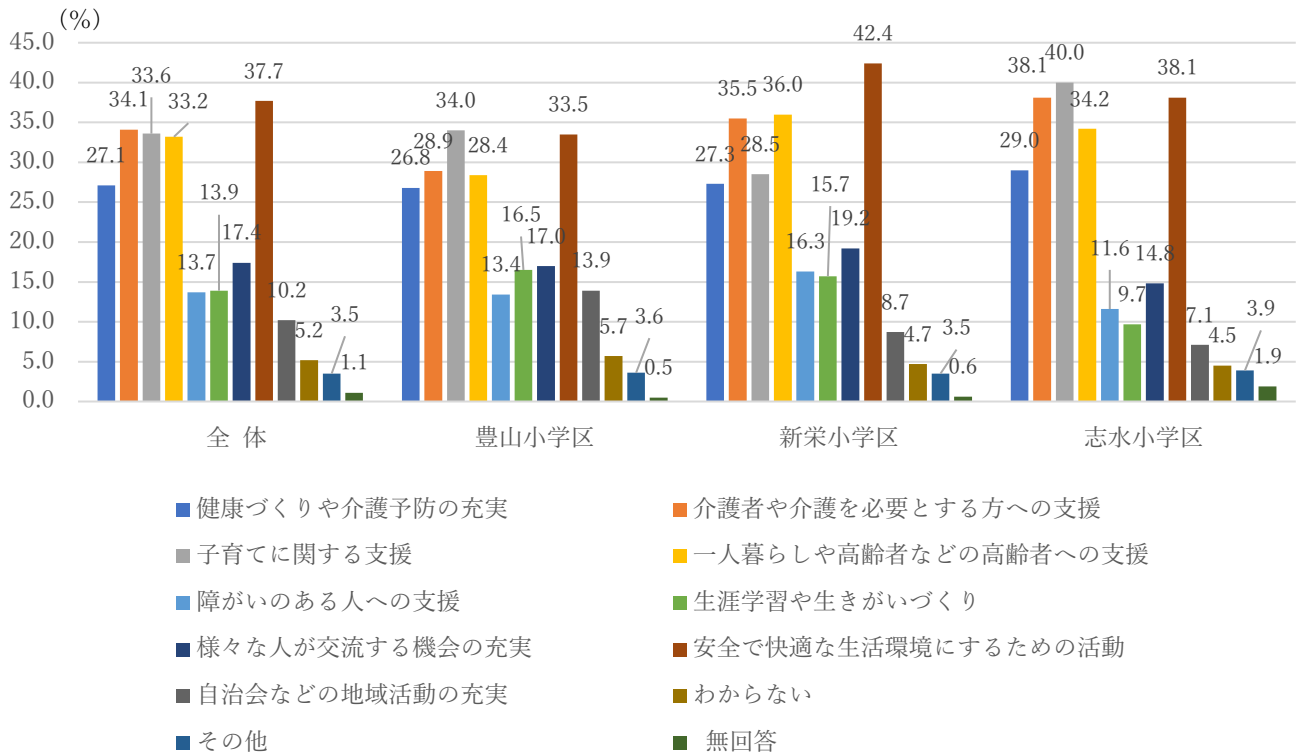
前回調査と比較してみると、「一人暮らしや高齢者など的高齢者への支援」が第1位から第4位へと減少し、「安全で快適な生活環境にするための活動」や「子育てに関する支援」が上位へ上昇することとなった。「介護者や介護を必要とする方への支援」は第2位のままである。

学区別でみると、豊山、志水小学区で「子育てに関する支援」、新栄小学区で「安全で快適な生活環境にするための活動」が最も多い。新栄、志水小学区で「介護者や介護を必要とする方への支援」「一人暮らしや高齢者など的高齢者への支援」が比較的に多い傾向。

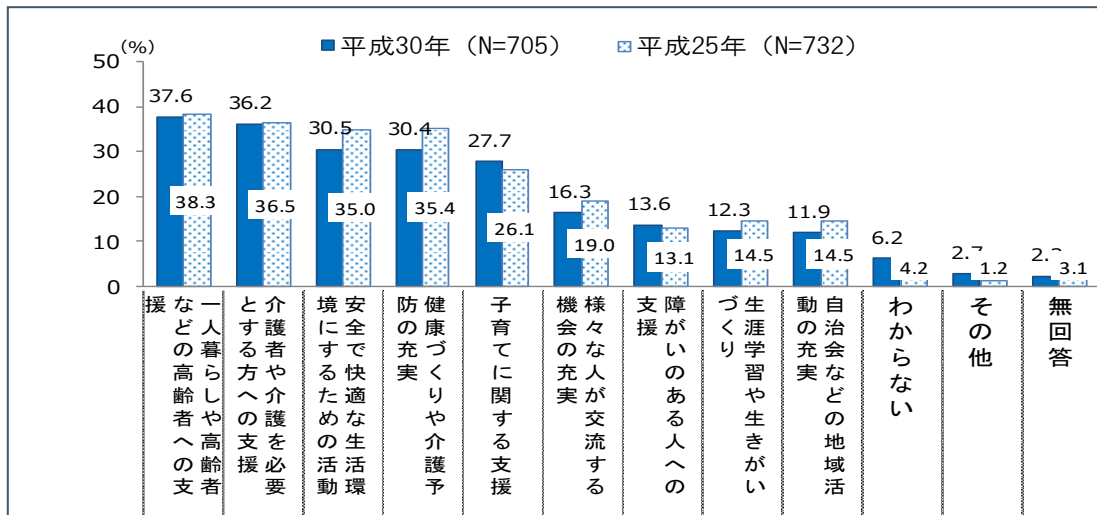
単位 (%)

| | 回答数(件) | 健康づくりや介護予防の充実 | 介護者や介護を必要とする方への支援 | 子育てに関する支援 | 一人暮らしや高齢者など的高齢者への支援 | 障がいのある人への支援 | 生涯学習や生きがいづくり | 様々な人が交流する機会の充実 | 安全で快適な生活環境にするための活動 | 自治会などの地域活動の充実 | わからない | その他 | 無回答 |
|-------|--------|---------------|-------------------|-----------|---------------------|-------------|--------------|----------------|--------------------|---------------|-------|-----|-----|
| 全 体 | 539 | 27.1 | 34.1 | 33.6 | 33.2 | 13.7 | 13.9 | 17.4 | 37.7 | 10.2 | 5.2 | 3.5 | 1.1 |
| 豊山小学区 | 194 | 26.8 | 28.9 | 34.0 | 28.4 | 13.4 | 16.5 | 17.0 | 33.5 | 13.9 | 5.7 | 3.6 | 0.5 |
| 新栄小学区 | 172 | 27.3 | 35.5 | 28.5 | 36.0 | 16.3 | 15.7 | 19.2 | 42.4 | 8.7 | 4.7 | 3.5 | 0.6 |
| 志水小学区 | 155 | 29.0 | 38.1 | 40.0 | 34.2 | 11.6 | 9.7 | 14.8 | 38.1 | 7.1 | 4.5 | 3.9 | 1.9 |

今後、より住みやすい地域とするために、どのような取り組みが重要だと思いますか



参考【前回調査】



問 20 これからの豊山町の福祉は何を重点にすべきだと思いますか。(〇は3つまで)

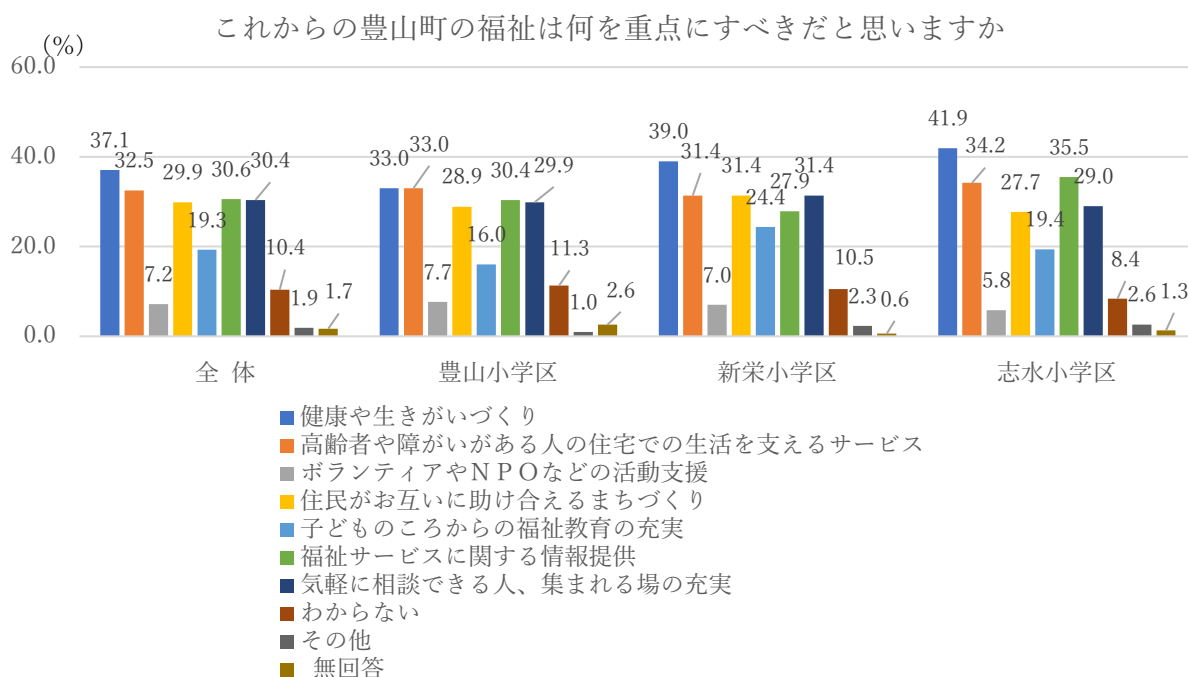
◆「健康や生きがいがづくり」37.1% (前回 35.5%より 1.6 ポイントアップ)

重点にすべき福祉課題については、「健康や生きがいがづくり」が37.1%と最も多く、次いで「高齢者や障がいがある人の住宅での生活を支えるサービス」が32.5% (前回 32.5%)、「福祉サービスに関する情報提供」が30.6% (前回 28.9%)、「気軽に相談できる人、集まれる場の充実」が30.4% (前回 25.8%) となった。

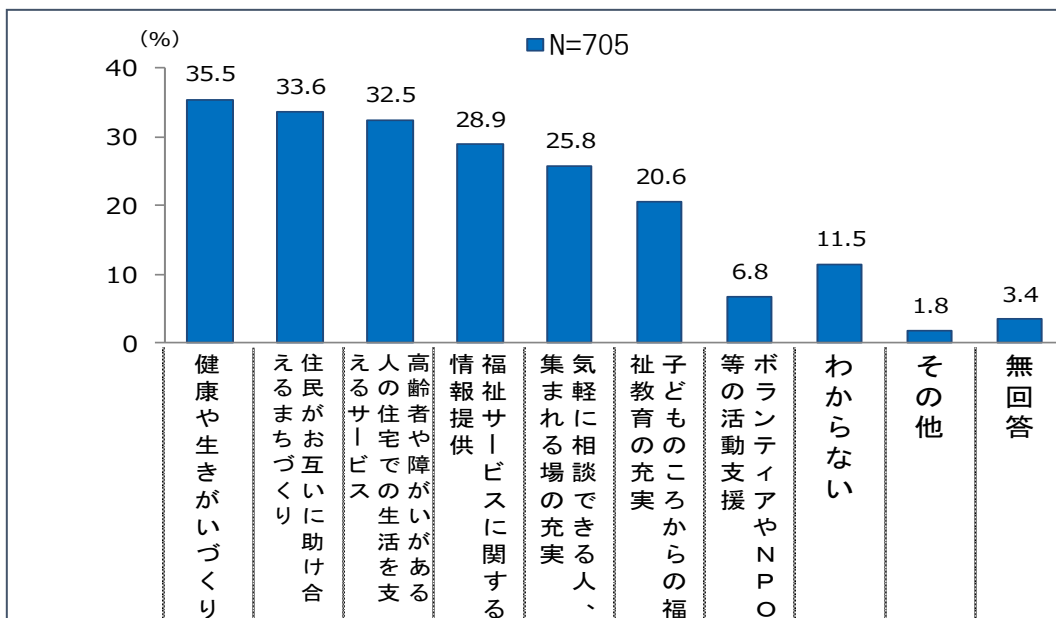
学区別でみると、すべての小学区で「健康や生きがいがづくり」が最も多い。豊山小学区だけは「高齢者や障がいがある人の住宅での生活を支えるサービス」が同率で多い。

単位 (%)

| | 回答数 (件) | 健康や生きがいがづくり | 高齢者や障がいがある人の住宅での生活を支えるサービス | 活動支援 | ボランティアやNPOなどのまちづくり | 住民がお互いに助け合えるま | 子どものころからの福祉教育の充実 | 福祉サービスに関する情報提供 | 気軽に相談できる人、集まれる場の充実 | わからない | その他 | 無回答 |
|-------|---------|-------------|----------------------------|------|--------------------|---------------|------------------|----------------|--------------------|-------|-----|-----|
| 全 体 | 539 | 37.1 | 32.5 | 7.2 | 29.9 | 19.3 | 30.6 | 30.4 | 10.4 | 1.9 | 1.7 | |
| 豊山小学区 | 194 | 33.0 | 33.0 | 7.7 | 28.9 | 16.0 | 30.4 | 29.9 | 11.3 | 1.0 | 2.6 | |
| 新栄小学区 | 172 | 39.0 | 31.4 | 7.0 | 31.4 | 24.4 | 27.9 | 31.4 | 10.5 | 2.3 | 0.6 | |
| 志水小学区 | 155 | 41.9 | 34.2 | 5.8 | 27.7 | 19.4 | 35.5 | 29.0 | 8.4 | 2.6 | 1.3 | |



参考【前回調査】



問 21 地域福祉を進めていくにあたって、地域として取り組むべきことは何だと思いますか。
(当てはまるものすべてに○)

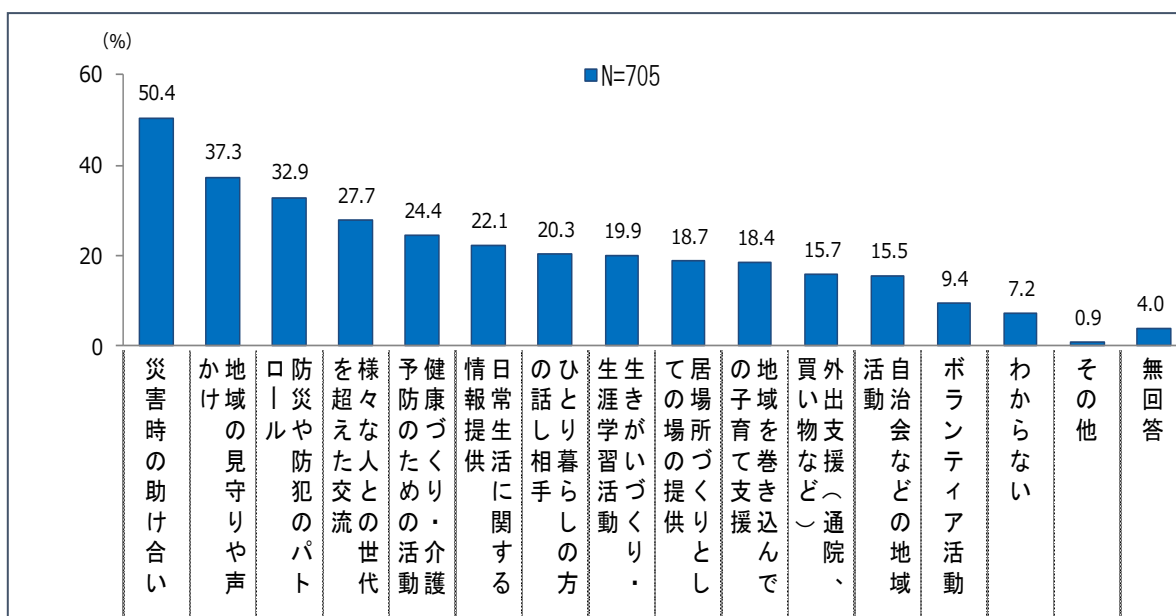
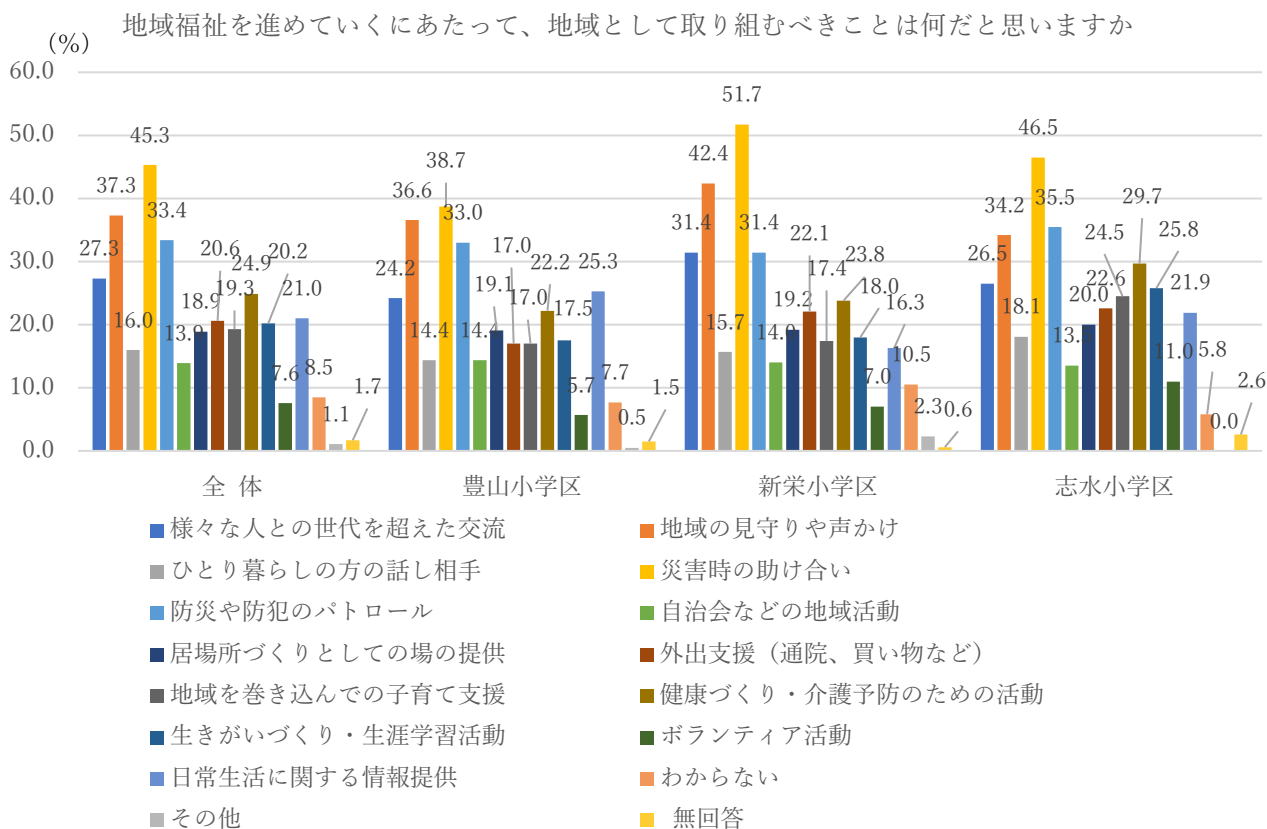
◆「災害時の助け合い」45.3%（前回 50.4%より 5.1 ポイントマイナス）

地域福祉を進めるために地域として取り組むことについては、「災害時の助け合い」が45.3%と最も多く、次いで「地域の見守りや声かけ」が37.3%（前回 37.3%）、「防災や防犯のパトロール」が33.4%（前回 32.9%）となった。

学区別で見ると、すべての小学区で「災害時の助け合い」が最も多い。次いで豊山、新栄小学区は「地域の見守りや声かけ」、志水小学区は「防災や防犯のパトロール」となっている。

単位（%）

| | 回答数（件） | 様々な人との世代を超えた交流 | 地域の見守りや声かけ | ひとり暮らしの方の話し相手 | 災害時の助け合い | 防災や防犯のパトロール | 自治会などの地域活動 | 居場所づくりとしての場の提供 | 外出支援（通院、買い物など） | 地域を巻き込んだので子育て支援 | 健康づくり・介護予防のための活動 | 生きがいづくり・生涯学習活動 | ボランティア活動 | 日常生活に関する情報提供 | わからない | その他 | 無回答 |
|-------|--------|----------------|------------|---------------|----------|-------------|------------|----------------|----------------|-----------------|------------------|----------------|----------|--------------|-------|-----|-----|
| 全 体 | 539 | 27.3 | 37.3 | 16.0 | 45.3 | 33.4 | 13.9 | 18.9 | 20.6 | 19.3 | 24.9 | 20.2 | 7.6 | 21.0 | 8.5 | 1.1 | 1.7 |
| 豊山小学区 | 194 | 24.2 | 36.6 | 14.4 | 38.7 | 33.0 | 14.4 | 19.1 | 17.0 | 17.0 | 22.2 | 17.5 | 5.7 | 25.3 | 7.7 | 0.5 | 1.5 |
| 新栄小学区 | 172 | 31.4 | 42.4 | 15.7 | 51.7 | 31.4 | 14.0 | 19.2 | 22.1 | 17.4 | 23.8 | 18.0 | 7.0 | 16.3 | 10.5 | 2.3 | 0.6 |
| 志水小学区 | 155 | 26.5 | 34.2 | 18.1 | 46.5 | 35.5 | 13.5 | 20.0 | 22.6 | 24.5 | 29.7 | 25.8 | 11.0 | 21.9 | 5.8 | 0.0 | 2.6 |



(6) 成年後見制度について

問 25 あなたは、成年後見制度について、知っていますか。(〇は1つ)

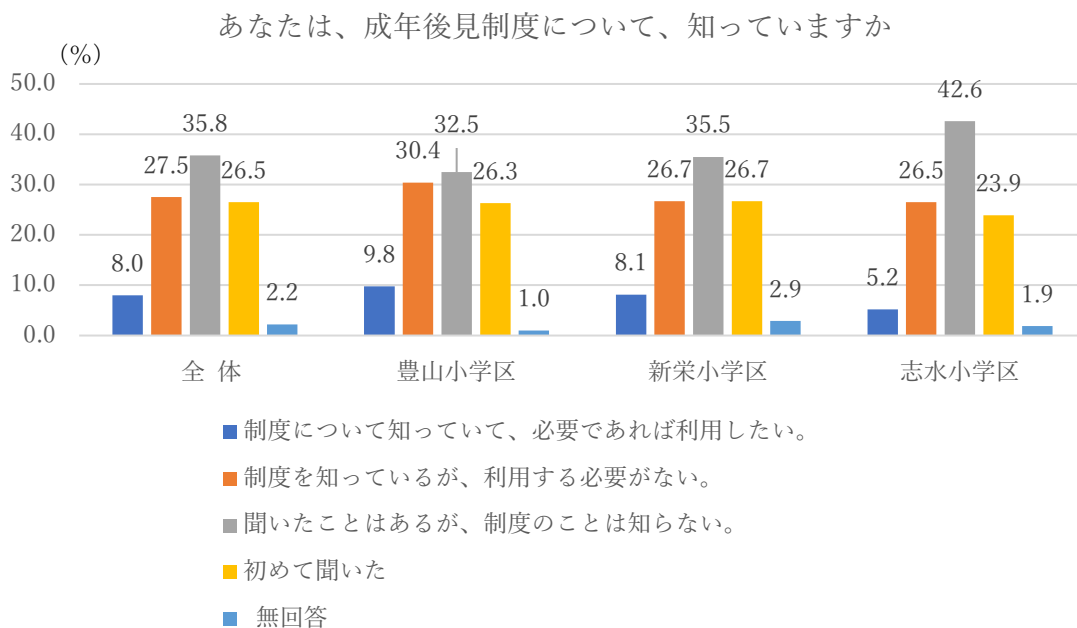
◆「聞いたことはあるが、制度のことは知らない。」35.8%

成年後見制度については、「聞いたことはあるが、制度のことは知らない。」が35.8%と最も多く、次いで「制度を知っているが、利用する必要がない。」が27.5%となった。

学区別でみると、すべての小学区で「聞いたことはあるが、制度のことは知らない。」が最も多い。次いで「制度を知っているが、利用する必要がない。」となっている。また、新栄小学区は「初めて聞いた。」も多くなっている。

単位 (%)

| | 回答数 (件) | 制度について知っていて、必要であれば利用したい。 | 制度を知っているが、利用する必要がない。 | 聞いたことはあるが、制度のことは知らない。 | 初めて聞いた。 | 無回答 |
|-------|------------|--------------------------|----------------------|-----------------------|---------|-----|
| 全 体 | 539 | 8.0 | 27.5 | 35.8 | 26.5 | 2.2 |
| 豊山小学区 | 194 | 9.8 | 30.4 | 32.5 | 26.3 | 1.0 |
| 新栄小学区 | 172 | 8.1 | 26.7 | 35.5 | 26.7 | 2.9 |
| 志水小学区 | 155 | 5.2 | 26.5 | 42.6 | 23.9 | 1.9 |



(7) 再犯防止の推進について

問 27 あなたは、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか (○は1つ)

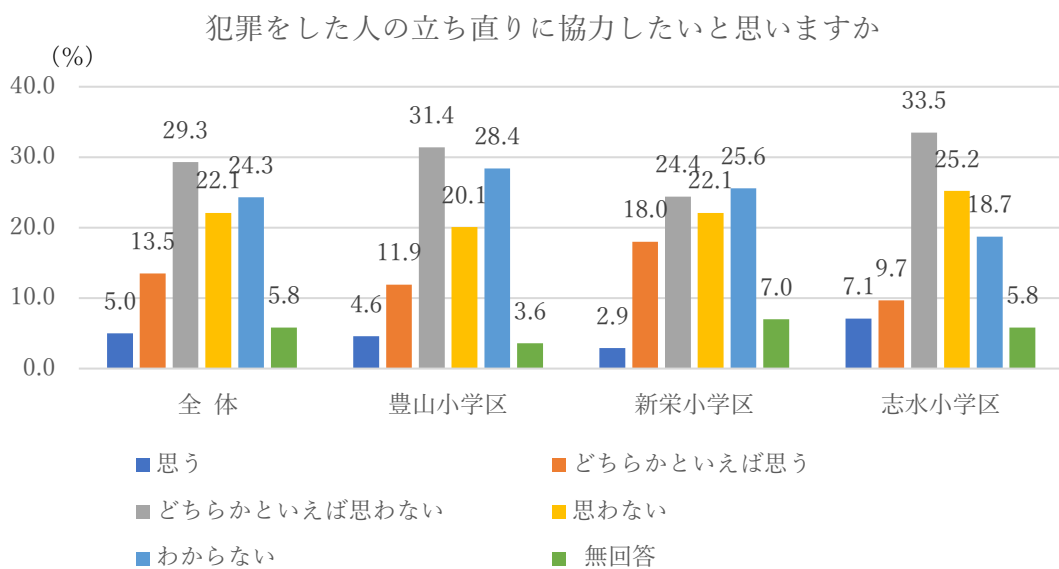
◆ 「どちらかといえば思わない」「思わない」を合わせて 51.4%

犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますかについては、「どちらかといえば思わない」が 29.3%と最も多く、次いで「わからない」が 24.3%となった。

学区別でみると、豊山、志水小学区で「どちらかといえば思わない」、新栄小学区で「わからない」が最も多くなっている。

単位 (%)

| | 回答数 (件) | 思う | どちらかといえば思う | どちらかといえば思わない | 思わない | わからない | 無回答 |
|-------|---------|-----|------------|--------------|------|-------|-----|
| 全 体 | 539 | 5.0 | 13.5 | 29.3 | 22.1 | 24.3 | 5.8 |
| 豊山小学区 | 194 | 4.6 | 11.9 | 31.4 | 20.1 | 28.4 | 3.6 |
| 新栄小学区 | 172 | 2.9 | 18.0 | 24.4 | 22.1 | 25.6 | 7.0 |
| 志水小学区 | 155 | 7.1 | 9.7 | 33.5 | 25.2 | 18.7 | 5.8 |



5 アンケート結果（まとめ）

（1）本人（回答者）について

性別

女性 59.2%、男性が 38.6%で女性が高め。

年齢

70 歳以上の 27.5%が最も高い。次いで 40 歳代の 20.4%。他は 60 歳代 16.9%、50 歳代 15.4%、30 歳代 11.7%、10・20 歳代 7.6%

家族構成

二世帯世帯（親と子）で 49.4%が最も高い。次いで夫婦世帯の 28.4%。他は単身世帯 11.1%、三世帯世帯（親と子と孫）8.7%など

居住年数（現在の居住地での居住年数）

20 年～49 年で 35.4%が最も高い。次いで 10～19 年の 20.2%。他は 5 年未満 17.8%、50 年以上 13.9%、5 年～9 年 12.2%など

現在の職業

会社員で 30.2%が最も高い。次いで無職の 21.0%。他はパート・アルバイト 18.9%、主婦（夫）16.0%、自営業 6.5%、公務員 3.3%、学生 1.1%など

お住まいの学区

豊山小学校区で 36.0%が最も高い。次いで新栄小学校区 31.9%、志水小学校区 28.8%

【本人（回答者）のまとめ】

（ア）地区別の回答者はそれぞれ約 3 割前後と均等である。

（イ）女性が約 6 割で多く、年齢で多いのは、70 歳以上が約 3 割で次いで 40 歳代が 2 割。

（ウ）家族世代で多いのは二世帯世帯（親と子）が約 5 割と最も高い。

（エ）職業別で多いのは会社員が 3 割、次いで無職が約 2 割、パート・アルバイトが 2 割弱になっているが、これは回答者の年齢別との関連性もある。

(2) 日常生活について

問2 隣近所との付き合い

「顔が会えばあいさつはする」で61.8%が最も高い。次いで「気の合った人とは親しくしている」17.6%。

問3 まちで困っている人を見かけたとき、手助けをしていますか

「心がけているが、機会がない」で57.3%が最も高い。次いで「実行している」28.9%。

問4 地域で介護や病気、子育てなどに困っている世帯があったらできることは何ですか

「安否確認の声かけ」で54.5%が最も高い。次いで「話し相手」41.4%、「資源ゴミ、可燃・不燃ゴミなどのゴミ出し」18.6%、「特になし」17.4%、「生活必需品などの買い物」16.1%など

問5 ご自身や家族が、介護や病気、子育てなどで困ったときは、地域で何を助けて欲しいですか

「安否確認の声かけ」で34.1%が最も高い。次いで「生活必需品などの買い物」26.3%、「病院などへの送迎」22.6%、「話し相手」22.1%、「地震など緊急時の避難誘導」20.6%など

問6 毎日の暮らしの中で、困っていることや不安に感じることは

「老後の生活や介護」で48.2%が最も高い。次いで「自分や家族の健康」37.7%。「収入や家計に関する経済的な問題」28.2%など

問7 介護や病気、子育てなどに困ったとき、誰に相談していますか

「家族・親族」で84.0%が最も高い。次いで「知人・友人」48.1%、「職場の人」17.6%など

問8 自分にとって必要な介護や健康、子育てなどに関する福祉サービスの情報をどの程度、入手できていますか

「あまりできていない」で46.4%が最も高い。次いで「できている」25.0%、「できていない」21.7%など

問9 介護や健康、子育てなどの福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか

「町の広報誌」で64.0%が最も高い。次いで「インターネット」31.0%、「入手していない」11.7%など

【日常生活についてのまとめ】

- (ア) 日頃の付き合いでは、「顔が合う人」や「親しい人」など約8割が身近に接触のある人になる。
- (イ) 自分以外で「困っている人」への対応では、「心がけているが機会がないと思っている人」は半数以上いるが、「実行している人」は約3割弱。
また、困っている人へ自分ができることは、「安否確認の声かけ」や「話し相手」などが約4割から5割と多い。
- (ウ) 反対に自分に対して「困ったとき」で助けてほしいことは、「安否確認の声かけ」や「生活必需品などの買い物」、「病院などへの送迎」などが多い。
また、不安に思っていることは、「老後の生活や介護」約5割と多い。他に「自分や家族の健康」や「収入や家計に関する経済的な問題」が3割から4割などが多い。
- (エ) 相談相手では、「家族や親族」が約8割強と非常に多く、次いで友人・知人など身近な存在の人になる。
- (オ) 必要な福祉サービスの情報入手については、「あまりできていない」「できていない」を合わせると約7割弱、「できている」が4分の1いる。
入手経路は紙媒体の「町の広報誌」が6割強、WEB媒体の「インターネット」は約3割強。「入手していない」人は1割強いる。

(3) 災害時の助け合いについて

問10 防災に対する取り組みや緊急時の対応について

- ① 避難場所を知っているか
「はい」が78.5%と高く、「いいえ」が20.6%
- ② 家族や身内への連絡方法を決めているか
「いいえ」が56.2%と高く、「はい」が42.7%
- ③ 緊急時に、避難所への誘導の手助けが必要か
「いいえ」が80.5%と高く、「はい」が17.3%
- ④ 隣近所で、自力で避難することが困難だと思われる人を知っているか
「いいえ」が79.0%と高く、「はい」が18.9%
- ⑤ 地域の防災訓練に参加したことがあるか
「いいえ」が66.0%と高く、「はい」が32.5%
- ⑥ 地域に自主的な防災組織があったら、参加するか
「いいえ」が66.2%と高く、「はい」が29.9%

【防災に対する取り組みや緊急時の対応についてのまとめ】

(ア) 避難所の認知については約 8 割弱が知っていると答えているが、緊急時に家族や身内への連絡方法を決めているのは約 4 割強と半数以下。避難後の家族や身内への安否確認の方法の周知が必要と感じる。

(イ) 実際の緊急時に避難所への誘導の手助けが必要と感じている人は約 2 割弱いるが、近所に自力で避難困難だと思われる人を知っている人は約 2 割弱。

緊急時の避難困難者への対応については、近くにいる人の手助けができる体制が必要と感じる。

(ウ) 地域の防災訓練への参加がない人が約 7 割弱。また、地域に自主的な防災組織への参加希望はない人が約 7 割弱。

防災や減災への意識は自分事へ捉えられるよう、住民に意識向上を促すことが今後の課題になる。

問 11 東日本大震災以前と現在を比べて、考え方が変わっているかについて

① 家族や親戚とのつながり

「以前と変わらない」が 57.5%と最も高く、次いで「大切だと思うようになった」が 38.8%

② 友人や知人とのつながり

「以前と変わらない」が 62.0%と最も高く、次いで「大切だと思うようになった」が 33.0%

③ 地域でのつながり

「以前と変わらない」が 54.9%と最も高く、次いで「大切だと思うようになった」が 34.5%

④ ボランティア等の社会貢献

「以前と変わらない」が 51.6%と最も高く、次いで「大切だと思うようになった」が 32.8%

⑤ 社会全体として助け合う意識

「以前と変わらない」が 46.2%と最も高く、次いで「大切だと思うようになった」が 43.8%

⑥ 自分のことは自分で守らなければならない意識

「大切だと思うようになった」が 61.4%と最も高く、次いで「以前と変わらない」が 35.6%

【東日本大震災以前と現在を比べて、考え方が変わっているかについてのまとめ】

全体的に多くの項目で過半数が「以前とは変わらない」、約 3 割強が「大切に思うようになった」と答えているが、特に変化があったのは、自分のことは自分で守らなければならない意識になる。

(4) 地域活動やボランティア活動について

問 12 自治会や子ども会、老人クラブなどの地域活動をしていますか

「活動している」が 30.4%と最も高い。次いで「活動したことはなく、今後も活動したいとは思わない」28.6%、「活動したことはあるが、現在は活動していない」25.6%、「活動したことはないが、今後活動したい」11.5%など

問 12-1 活動している（していた）地域活動は何ですか

(活動している、活動したことはあるが、現在は活動をしていないと答えた人)

「自治会」が 79.8%と最も高い。次いで「子ども会」41.1%、「PTA」31.8%など

問 12-2 地域活動の主な目的は何ですか

「近所付き合いや順番」が 28.8%と最も高い。次いで「隣近所とのふれあい」27.8%、「地域への貢献」25.8%など

問 12-3 地域活動をしていない主な理由は何ですか（活動したことがないが、今後活動したい）

「勤務などの都合で機会がない」が 35.5%と最も高い。次いで「自治会に入っていない」22.6%、「時間がない」16.1%など

問 13 あなたはボランティア活動をしていますか

「活動したことはなく、今後も活動したいとは思わない」が 41.2%と最も高い。次いで「活動したことはないが、今後活動してみたいと思う」29.1%など

問 13-1 参加している（していた）ボランティア活動は何ですか

(活動している、活動したことはあるが、現在は活動をしていないと答えた人)

「スポーツ・文化・レクリエーション活動」が 27.4%と最も高い。次いで「子育てや児童にかかわる活動」21.2%など

問 13-2 ボランティア活動の継続や、参加しやすいようにするための必要な条件はどのようなことだと思いますか（活動している、活動したことはあるが、現在は活動をしていないと答えた人）

「時間的・経済的にゆとりがある」が 56.6%と最も高い。次いで「ともに活動する仲間や友人がいる」38.9%、「自分や家族が健康でいられる」36.3%など

問 13-3 ボランティア活動をしていない主な理由は何ですか

(活動をしたことがないが、今後活動してみたいと思う)

「時間に余裕がない」が 51.6%と最も高い。次いで「どんなボランティアがあるかわからない」24.8%など

【地域活動やボランティア活動についてのまとめ】

- (ア) ボランティア活動への参加に前向きな回答として「活動している」「活動したことはないが、今後活動してみたいと思う」を合わせて約4割強いる。
- (イ) 地域活動の経験のある人で、主な地域活動とその目的では、「自治会」が約8割で多く、他には、子ども会やPTAなど子ども関連の活動も多い。それに伴って、近所とのふれ合いや順番、地域への貢献などの目的が多い。
- (ウ) 活動をしていない人の理由では、勤務などの都合で機会がないが4割弱、自治会に入っていないや時間がないなど様々な理由になる。
- (エ) ボランティア活動については、「活動をしたことはなく、今後も活動したいと思わない人」は約4割いる。また、ボランティア活動への参加に前向きな回答として「活動している」「活動したことはないが、今後活動してみたいと思う」を合わせて約4割弱いる。
- (オ) 現在活動をしている人や過去に活動をしていた人の活動内容では、スポーツ・文化・レクリエーション活動や子育てや児童にかかわる活動などが多く、地域の行事や子ども関連になる。
- (カ) ボランティア活動の継続する条件や環境については、参加者本人が時間的・経済的にゆとりがあるか、ともに活動する仲間や友人がいる、自分や家族が健康でいられるなど、参加者本人の現在の生活環境や条件によって判断している。
- (キ) ボランティア活動の希望はあるが、現在ボランティア活動をしていない理由では、「時間に余裕がない」が約5割強いる。また、「どんなボランティアがあるかわからない」などの理由も2割強いる。

(5) 豊山町の福祉サービスについて

問 14 障がいのある人に対して、地域として取り組むべきことは何だと思えますか

「障がいに対する理解」が 50.1%と最も高い。次いで「介護者や介護が必要とする人への支援」32.7%、「地域の人の見守りや声かけ」26.5%、「災害時の助け合い」24.9%など

問 15 子育てについて考えたとき、地域として取り組むべきことは何だと思えますか

「子ども同士が遊べる機会の充実」が 29.7%と最も高い。次いで「地域の子どもへの見守りと声かけ」29.5%など

問 16 今後、より住みやすい地域とするために、どのような取り組みが重要だと思えますか

「安全で快適な生活環境にするための活動」が 37.7%と最も高い。次いで「介護者や介護を必要とする方への支援」34.1%、「子育てに関する支援」33.6%、「一人暮らしや高齢者などの高齢者への支援」33.2%、「健康づくりや介護予防の充実」27.1%など

問 17 豊山町の子育てや介護、健康づくりなどの福祉の環境は充実していると思えますか

「わからない」が 46.8%と最も高い。次いで「どちらかといえば充実している」30.8%など

問 18 豊山町の子育てや介護、健康づくりなど福祉制度（相談も含む）について知っていますか

「知らないが、パンフレットなどで確認できる」が 24.9%と最も高い。次いで「知らないが、不都合はない」21.0%、「知っている」20.8%など

問 19 豊山町の子育てや介護、健康づくりなど福祉制度（相談も含む）を利用して、満足するサービスを受けましたか

「福祉制度を利用したことがない」が 45.8%と最も高い。次いで「ある程度満足した」21.0%、「わからない」20.2%など

問 20 これからの豊山町の福祉は何を重点にすべきだと思えますか

「健康や生きがいづくり」が 37.1%と最も高い。次いで「高齢者や障がいがある人の住宅での生活を支えるサービス」32.5%、「福祉サービスに関する情報提供」30.6%、「気軽に相談できる人、集まれる場の充実」30.4%、「住民がお互いに助け合えるまちづくり」29.9%など

問 21 地域福祉を進めていくにあたって、地域として取り組むべきことは何だと思えますか

「災害時の助け合い」が 45.3%と最も高い。次いで「地域の見守りや声かけ」37.3%、「防災や防犯のパトロール」33.4%、「様々な人との世代を超えた交流」27.3%など

問 22 豊山町社会福祉協議会を知っていますか

「名前は聞いたことあるが、活動の内容はよく知らない」が 57.7%と最も高い。次いで「名前も活動の内容も知らない」25.8%など

問 22-1 地域福祉の推進のために、社会福祉協議会は特にどの分野に力を入れていくべきだと思いますか(活動も内容もよく知っている、名前は聞いたことあるが、活動内容はよく知らないと答えた人)

「身近なところで相談ができる体制の充実」が 39.1%と最も高い。次いで「高齢者や障がいのある人など援助を必要とする方々への支援」38.3%など

問 23 赤い羽根共同募金を知っていますか

「名前も内容もよく知っている」が 53.1%と最も高い。次いで「名前は聞いたことあるが、活動の内容はよく知らない」42.9%など

問 24 お住まいの地域周辺の環境について、どのように思いますか

① 高齢者に対する福祉サービスが充実している

「わからない」が 41.0%と最も高く、次いで「まあそう思う」が 29.9%

② 子育て支援に対する福祉サービスが充実している

「わからない」が 40.6%と最も高く、次いで「まあそう思う」が 28.8%

③ 健康づくりに対する支援が充実している

「わからない」が 36.4%と最も高く、次いで「まあそう思う」が 31.4%

④ 障がいのある人に対する福祉サービスが充実している

「わからない」が 51.4%と最も高く、次いで「まあそう思う」が 20.0%

⑤ 生活困窮や就労促進に対する支援が充実している

「わからない」が 54.2%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 19.5%

⑥ 近所付き合いや助け合い等の近隣関係が良好である

「まあそう思う」が 35.6%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 23.4%

⑦ 地域活動やボランティア活動が活発である

「わからない」が 39.7%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 23.0%

⑧ 病院や診療所等の医療体制が整備されている

「まあそう思う」が 34.3%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 23.9%

⑨ 防犯や防災に対する支援や組織体制が整備されている

「わからない」が 40.8%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 23.9%

【豊山町の福祉サービスについてのまとめ】

- (ア) 障がいのある人に対して地域での取り組むべきことについては、「障がいに対する理解」が5割。「介護者や介護が必要とする人への支援」は約3割強など、障がいのある人本人または関係者への理解と支援が多い。
- (イ) 子育てについての地域での取り組むべきことについては、「子ども同士が遊べる機会の充実」と「地域の子どもへの見守りと声かけ」が約3割、子ども同士の遊べる機会や見守り、声かけなど、普段から取り組みやすいところからの項目が多い。
- (ウ) 今後、より住みやすい地域とするための取り組みについては、「安全で快適な生活環境にするための活動」が約4割弱と多く、生活環境に関する希望が多い。
- (エ) 豊山町の子育てや介護、健康づくりなどの福祉の環境については、「わからない」が約5割。次いで「どちらかといえば充実している」が3割となっている。
- (オ) 豊山町の子育てや介護、健康づくりなどの福祉制度（相談も含む）についての認知は、「知らないが、パンフレットなどで確認ができる」が約3割弱、「知らないが、不都合はない」が約2割強。

実際に利用をして満足するサービスを受けたかについては、「福祉制度を利用したことがない」が約5割弱。次いで「ある程度満足した」「わからない」が約2割となっている。これらから、福祉制度を知らないことから実際に利用をしていない、わからない人が多く含まれているようだが、必要な時に利用できる制度もあることを周知していくことで、選択肢を伝える必要がある。

- (カ) これからの豊山町の福祉は何を重点にすべきかについては、「健康や生きがいづくり」が約4割弱と多い。「高齢者や障がいがある人の住宅での生活を支えるサービス」「福祉サービスに関する情報提供」「気軽に相談できる人、集まれる場の充実」が約3割と特に一つではなく、様々な回答になる。
- (キ) 地域福祉を進めていくにあたって、地域として取り組むべきことでは、「災害時の助け合い」が約5割弱と多い。他に「地域の見守りや声かけ」「防災や防犯のパトロール」が約3割から4割となり、防災、防犯に関する項目が多い。
- (ク) 豊山町社会福祉協議会の認知では、「名前は聞いたことあるが、活動の内容はよく知らない」が約6割弱と多く、「名前も活動の内容も知らない」が約3割弱となっている。今後は活動状況などの住民への周知にも検討が必要。
- (ケ) また、豊山町社会福祉協議会の名前を知っていると答えた人で、地域福祉の推進のために、社会福祉協議会は特にどの分野に力を入れていくべきかについては、「身近なところで相談ができる体制の充実」と「高齢者や障がいのある人など援助を必要とする方々への支援」が約4割と多い。今後へ期待されるのは、身近な相談場所や高齢者と障がいのある人への支援になっている。

(6) 成年後見制度について

問 25 成年後見制度について、知っていますか

「聞いたことはあるが、制度のことは知らない」が 35.8%と最も高い。次いで「制度を知っているが、利用する必要がない」27.5%、「初めて聞いた」26.5%など

問 26 成年後見制度の利用の促進・充実を図っていくためには、どのようなことが必要だと思いますか

「制度のわかりやすい広報や周知活動による理解の浸透」が 68.6%と最も高い。次いで「制度の内容や利用を相談できる専門の相談窓口の設置」35.3%、「援助する後見人等による金銭の横領など不正防止の徹底」31.2%、「制度の利用にかかる金銭的支援（経費や報酬に対する助成）」24.5%、「医療・法律・福祉など関係団体の連携やネットワークづくり」24.1%、「援助する後見人等になった方の支援、バックアップ」22.4%など

【成年後見制度についてのまとめ】

成年後見制度では、制度について内容を知らない人は「聞いたことはあるが、制度のことは知らない」「初めて聞いた」を合わせて約6割強いる。また、成年後見制度の利用の促進・充実を図っていくためには、どのようなことが必要かについては、「制度のわかりやすい広報や周知活動による理解の浸透」が約7割弱と多い。今後は制度の内容までを分かりやすく理解してもらえることが必要になる。

(7) 再犯防止の推進について

問 27 犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか

「どちらかといえば思わない」が 29.3%と最も高い。次いで「わからない」24.3%、「思わない」22.1%など

問 27-1 再犯防止に向け、どのような協力をしたいと思いますか

(思う、どちらかといえば思うと答えた人)

「犯罪をした人の相談にのり、助言やサポートをする」が 49.0%と最も高い。次いで「わからない」26.0%、「協力雇用主（犯罪前歴を承知の上で雇用に協力をする事業主）として、犯罪をした人を雇用する」21.0%など

問 28 再犯防止に向け、犯罪をした人等に対し、どのような施策に力を入れていくべきだと思いますか

「就労の確保」が 76.6%と最も高い。次いで「住居の確保」38.6%、「学校等と連携した修学支援」24.1%など

【再犯防止の推進についてのまとめ】

- (ア) 犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますかについては、「どちらかといえば思わない」「思わない」を合わせて約5割強となっている。また、「思う」と「どちらかといえば思う」合わせて約2割弱の回答した人に、再犯防止に向け、どのような協力をしたいと思いますかについて聞いてみると、「犯罪をした人の相談にのり、助言やサポートをする」が約5割となった。
- (イ) 再犯防止に向け、犯罪をした人等に対し、どのような施策に力を入れていくべきでは、「就労の確保」が約8割弱と多い。

(8) 豊山町の地域福祉について

問 29 「豊山町地域福祉計画」について、ご存知でしたか

「名前も内容も知らない」が 53.2%と最も高い。次いで「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」39.1%など

問 30 「豊山町地域福祉活動計画」について、ご存知でしたか

「名前も内容も知らない」が 56.4%と最も高い。次いで「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」35.4%など

問 31 豊山町を福祉の面から見て住みやすいまちだと思いますか

「まあ住みやすいまちだと思う」が 44.2%と最も高い。次いで「わからない」29.3%など

問 32 お住まいの地域に愛着をお持ちですか

「ある程度愛着がある」が 56.6%と最も高い。次いで「とても愛着がある」19.5%など

【豊山町の地域福祉についてのまとめ】

- (ア) 「豊山町地域福祉計画」「地域福祉活動計画」の認知について、「名前も内容も知らない」の回答はともに5割強と半数以上いる。また、名前は聞いたことがあっても、「内容は知らない」まで含めると、ともに約9割いる。
- (イ) 豊山町を福祉の面から見て住みやすいまちだと思いますかについては、「まあ住みやすいまちだと思う」「住みやすいまちだと思う」を合わせて約5割強で、半数以上は福祉面で住みやすいまちと感じている。
- (ウ) お住まいの地域に愛着については、「ある程度愛着がある」と「とても愛着がある」合わせて約8割弱で、地域に愛着があると感じる人が多い。

Ⅱ 団体アンケート調査結果

1 調査の目的

本調査は、「第4次豊山町地域福祉計画・地域福祉活動計画」策定のため、町内の福祉団体、ボランティア団体など12団体の現状や今後の方針、活動、事業上の課題や悩みなど把握し、計画づくりの参考とするために実施しました。

2 調査概要

(1) 調査対象、調査方法、調査時期

| | |
|------|--|
| 調査対象 | 町内の福祉団体、ボランティア団体など12団体 |
| 団体名 | とよやま女性の会 豊山町商工会 傾聴ボランティアみみっこ 豊山にじいろ食堂 豊山町交通安全協会 サロン「ゆるりん」 健康数珠つなぎの会 下青山サロン・アマリリス 読みきかせグループゆめっ子 手話サークル豊友 食生活の会 とよやま点字友の会 |
| 調査方法 | 郵送またはヒアリング |
| 調査時期 | 令和5年8月 |

3 団体アンケートまとめ（アンケート設問より一部抜粋）

（1）活動・事業上の課題・悩み

- 足の便が悪い
- 仕事と家庭とで役員のなり手が少ない
- 運営の仕事量が多い。
- コロナの影響による活動の自粛、認知度低下
- 会員の減少
- スキル低下への不安
- ボランティアへ費やす時間が限られている
- 協会員の高齢化による人員不足、活動時の不備
- 平均年齢が年々上昇
- 60代の若手の参加が少ない
- リーダーがいつまでできるか（後援者養成）
- 現在会員数26名中男性3名のみ。代表者の後任模索中です。
- 活動場所について狭すぎる
- 参加者が少ない。また、だんだん固定化して新メンバーが入りにくい
- 責任者だけの自己満足に終わるのではなく、地域の人々をもう少し巻き込むには？
- 来てくれる人が少ない
- 活動するメンバーがなかなか増えず、活動がむずかしいと考える場面もある。
- メンバー全体が高齢化しているので、若い方は入りにくいと思う
- 会員の高齢化
- 当事者の参加者不足（1人に負担がかかる）
- 人材不足で新しい方の入会がないこと
- 活動の機会が少ない
- 年々ボランティアをする人が少ない
- 今いるボランティアも高齢化で会がいつまで続けられるかわからない。
- 点訳以外の行事が重荷に感じるボランティアもいます。
- 点字を打ち出す機械が高額なため（今使っているものは生産終了）
- 本などの原稿をスキャンし、点字にしてくれるシステムがあるが、お金がかかり、結局ボランティアの時間と労力がある。

【まとめ】

（ア）会員の高齢化が進んでいることと、入会者の減少と担い手不足が深刻化している。

（イ）それにより、現状の会員への負荷も大きく、運営にも支障がでてきている状況。

（ウ）また、若い年齢層の新規会員の勧誘を含め、会員増強の模索をしているが、解決策が見つからないことが現状。ボランティアの存続を含めて地域の巻き込み方の検討が必要。

Ⅲ 豊山町基礎データ

1 豊山町基礎データまとめ

(1) 人口動向（直近5年間）

- ① 全体で微増
- ② 15～64歳の層は増加、0～14歳、65歳以上は減少
- ③ 外国人は増加傾向
- ④ 自然動態（出生、死亡）は、自然減の傾向
- ⑤ 社会動態は、転入超過の状態
- ⑥ 世帯数は増加傾向、1世帯当たりの人数は減少

(2) 高齢者

- ① 人数は減少、総人口による割合はほぼ変わらない
- ② 高齢化率は22%推移
- ③ 高齢者のいる世帯34%
- ④ 要介護認定者は増加傾向

(3) 障がいのある人

- ① 身体、療育手帳所持者は微増傾向
- ② 精神障害者保健福祉手帳所持者数は年々増加

(4) 子ども

- ① 年々減少
- ② 保育園入園児童数は年々減少

(5) ひとり親世帯

- ① 全体は減少傾向
- ② 母子世帯の割合は増加

(6) 生活保護

- 被保護人員は微増で、被保護世帯は微減

(7) 自殺者

- ① 過去5年間は年間5人以下
- ② 自殺死亡率は令和2年、3年では県を上回っていたが、令和4年で国、県を下回る

(8) ボランティア

- 令和5年度の団体数は昨年度より1団体増加、登録者数は25名増加

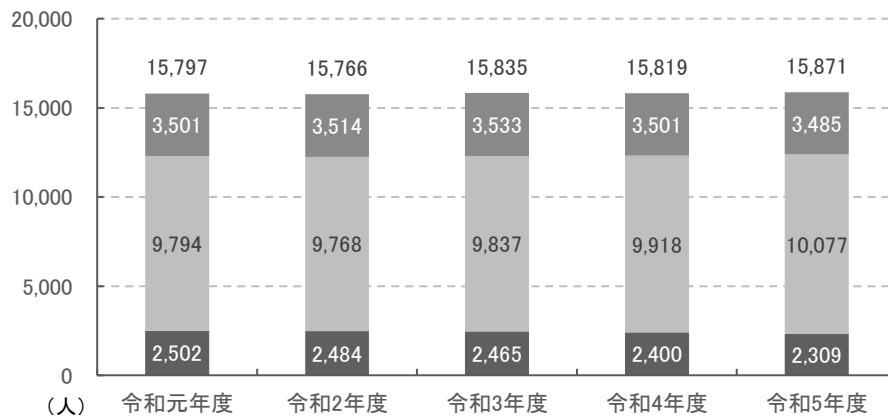
2 豊山町基礎データ資料

1 人口と世帯

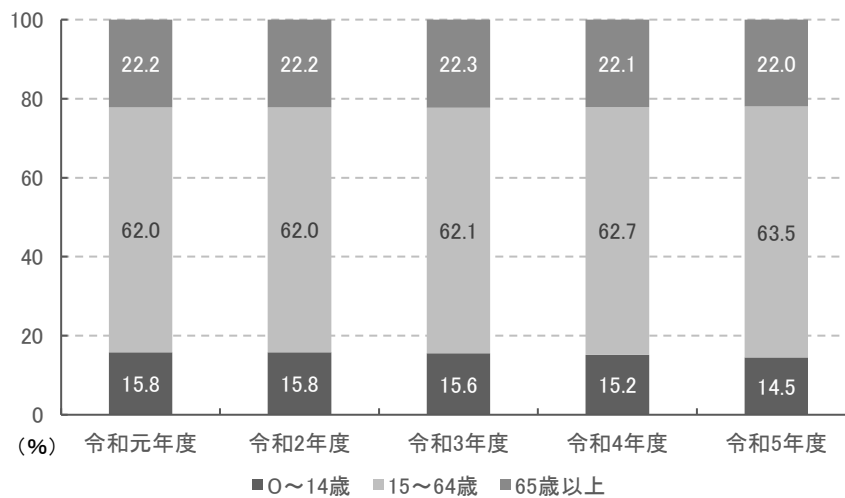
(1) 人口推移

本町の人口は年々増加傾向にあり、令和元年度の15,797人から令和5年度で15,871人と74人の増加となっています。年齢3区分別で令和元年度と令和5年度を比べると、「0-14歳」が2,502人から2,309人と、「15-64歳」が9,794人から10,077人、「65歳以上」が3,501人から3,485人と、「15-64歳」が増加傾向にあります。年齢3区分別人口構成比をみると、「0-14歳」が減少、「15-64歳」が増加となっており、少子化傾向にあることがうかがえます。【資料 住民課 住民・年金グループ（各年度4月1日現在）】

図表1 年齢3区分別人口の推移



図表2 年齢3区分別人口構成比の推移



(2) 外国人数の推移

外国人数は、令和3年度に512人、令和4年度に480人と減少するものの、令和5年度で527人と再び増加しています。総人口に占める割合は、令和4年度の3.0%から令和5年度の3.3%と、0.3ポイント比率が高くなっています。

図表3 外国人登録者数の推移

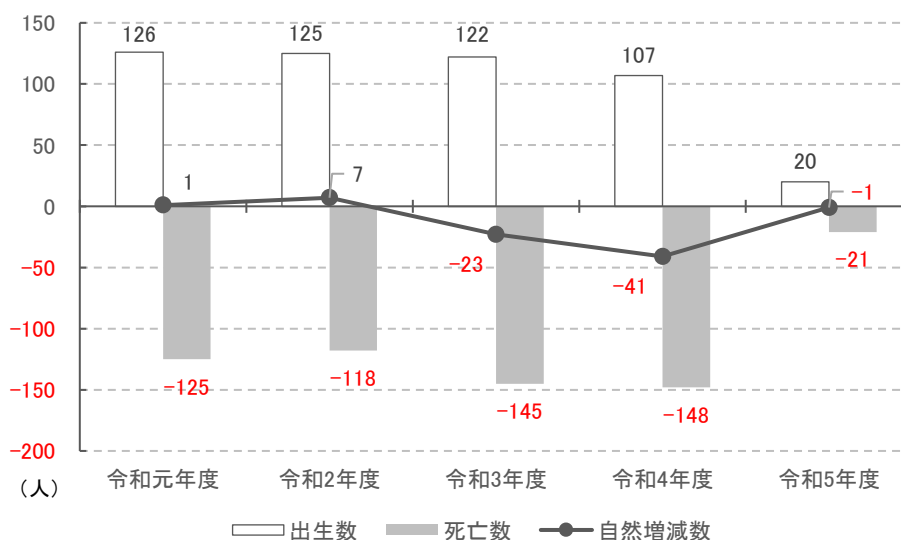
| 区分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 外国人数 | 514 | 536 | 512 | 480 | 527 |
| 割合(%) | 3.3 | 3.4 | 3.2 | 3.0 | 3.3 |

資料 住民課 住民・年金グループ (各年度4月1日現在)

(3) 自然動態(出生・死亡)の推移

出生数は、年々減少傾向にあり、令和3年度には122人、令和4年度には107人と15人の減少となっています。死亡数については、令和元年度で125人、令和2年度で118人、令和3年度で145人、令和4年度で148人と増減をしているものの、100人以上の死亡数が続いています。出生数と死亡数については、令和3年度以降出生数が死亡数を下回る自然減の傾向が続いています。

図表4 自然動態(出生・死亡)の推移



資料 住民課 住民・年金グループ

(令和元年度～令和4年度4月1日現在、令和5年度4月～5月)

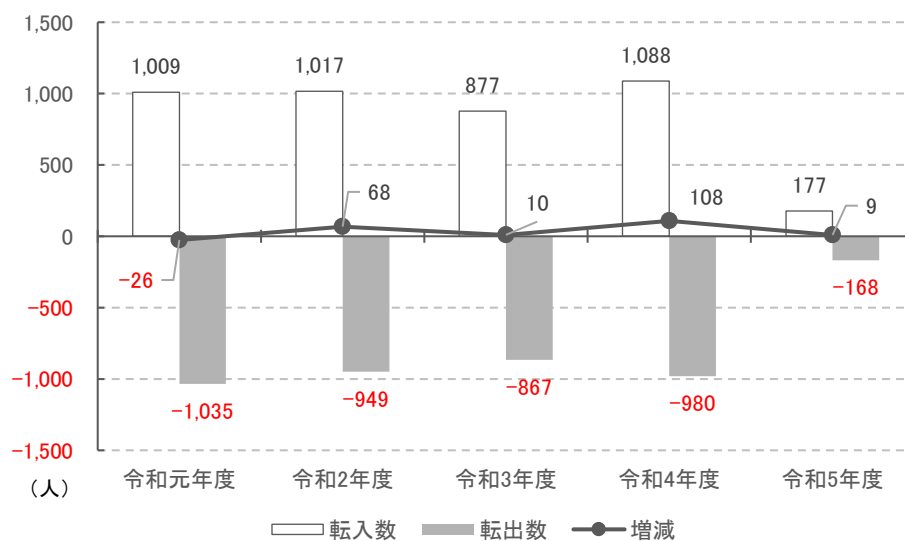
(4) 社会動態（転入・転出）の推移

転入数は、令和元年度に1,009人で、令和2年度には1,017人、令和3年度には877人と一旦減少するものの、令和4年度には、1,088人といずれの年も800人以上の転入者がみられます。

転出数は、令和元年度に1,035人、令和2年度に949人、令和3年度には867人と一旦減少するものの、令和4年度には980人と増加に転じています。

転入数・転出数については、令和2年度以降転入数が転出数を上回る転入超過の状態が続いています。

図表5 社会動態(転入・転出)の推移



資料 住民課 住民・年金グループ

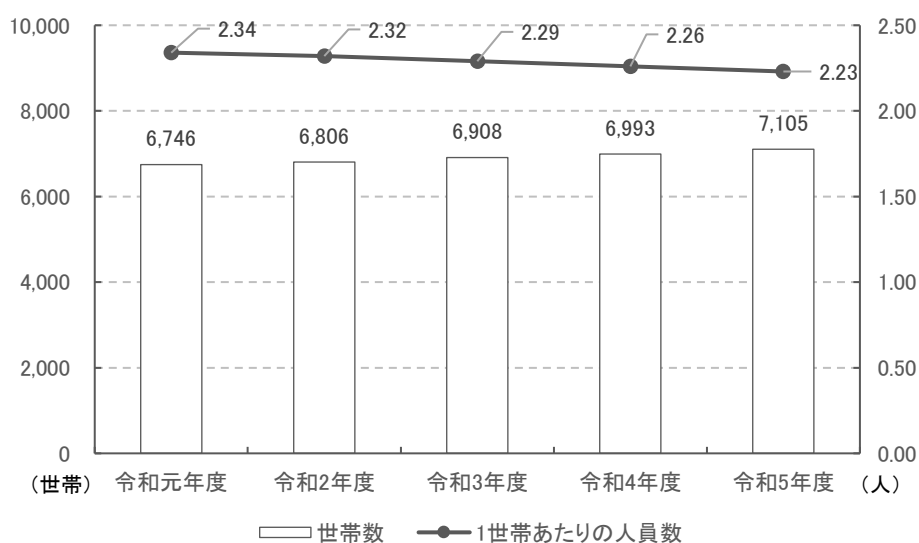
(令和元年度～令和4年度4月1日現在、令和5年度4月～5月)

(5) 世帯数の推移

世帯数は年々増加傾向にあり、令和元年度の6,746世帯から令和5年度に7,105世帯と359世帯増加しており、令和元年度からの推移をみると、増加傾向にあります。

1世帯あたりの人員は、令和元年度の2.34人から令和5年度で2.23人と0.11ポイント減少となっており、令和元年度からの推移をみると減少傾向になっていることがうかがえます。

図表6 世帯数の推移と1世帯あたりの人員数



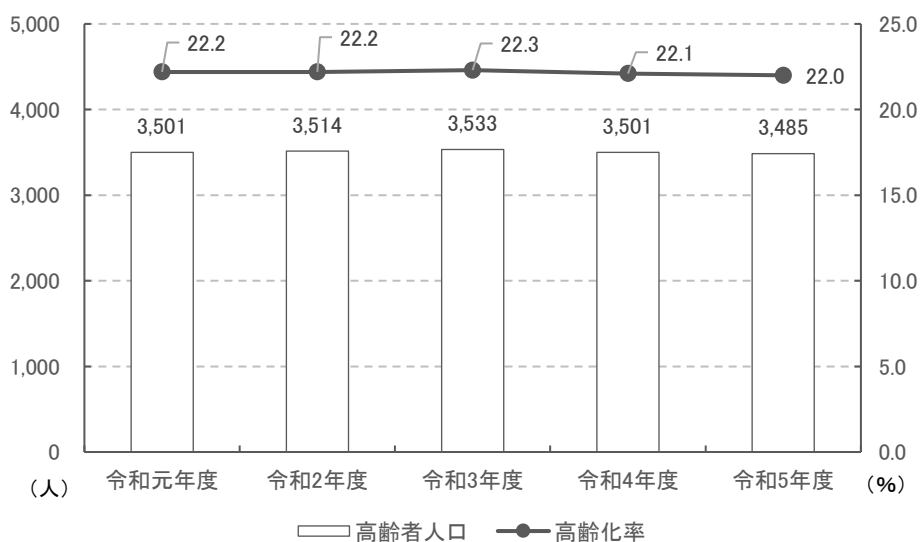
資料 住民課 住民・年金グループ (各年度4月1日現在)

2 高齢者の状況

(1) 高齢者人口と高齢化率の推移

高齢者数は、令和元年度から令和3年度にかけて増加傾向でしたが、令和4年度以降減少に転じています。高齢化率（総人口に占める65歳以上の高齢者の割合）は高齢者人口とともに増減していますが、いずれの年度においても22%以上を推移しています。

図表7 高齢者人口と高齢化率の推移



資料 住民課 住民・年金グループ（各年度4月1日現在）

(2) 高齢者のいる世帯状況

65歳以上の高齢者のいる世帯は、令和4年9月1日現在で2,421世帯になっており、総世帯数の34.3%となっています。

また、世帯に1人でも75歳以上の高齢者がいる高齢者世帯は、1,469世帯で20.8%、65歳以上のひとり暮らし高齢者世帯は、816世帯で11.6%となっており、高齢化の進展に伴い、今後も高齢者のいる世帯の増加が予想されます。

図表8 高齢者のいる世帯状況

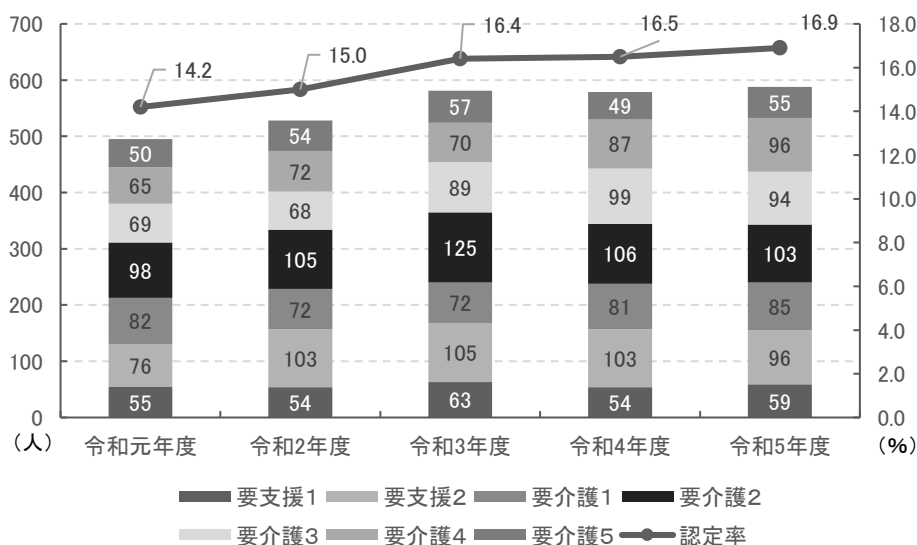
| 区分 | 総世帯 | 高齢者のいる世帯 | 75歳以上 高齢者 | ひとり暮らし 高齢者世帯 |
|---------------|-------|----------|--------------|-----------------|
| | | | 世帯数 | 7,062 |
| 総世帯数に対する比率(%) | 100.0 | 34.3 | 20.8 | 11.6 |

資料 保険課 介護グループ (令和4年9月1日現在)

(3) 要介護認定者数の推移

要介護認定者は増加傾向にあり、令和元年度の495人から、令和5年度には588人と93人の増加になっています。中でも、令和元年度から令和5年度までに要支援2や要介護3、4の増加が目立っており、要支援者では24人の増加、要介護3では16人の増加、要介護4では31人の増加となっています。また、認定率についても、令和元年度の14.2%から令和5年度に16.9%と増加しています。

図表9 要介護認定者数の推移



資料 保険課 介護グループ (各年度4月1日現在)

3 障がいのある人の状況

(1) 身体障害者手帳所持者数の推移

身体障害者手帳所持者数は、令和元年度の421人から令和5年度の430人と9人増加となっています。どの年度も1級が最も多く、次いで3級の順となっています。また、令和5年度で1級と2級の重度の割合が全体の44.4%を占めています。

図表 10 身体障害者手帳所持者数の推移

(単位:人)

| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1級 | 120 | 123 | 133 | 131 | 127 |
| 2級 | 52 | 50 | 53 | 59 | 64 |
| 3級 | 110 | 109 | 99 | 101 | 104 |
| 4級 | 97 | 99 | 97 | 97 | 92 |
| 5級 | 18 | 18 | 17 | 19 | 20 |
| 6級 | 24 | 20 | 20 | 23 | 23 |
| 18歳未満 | 10 | 9 | 10 | 12 | 10 |
| 18歳以上 | 411 | 410 | 409 | 418 | 420 |
| 計 | 421 | 419 | 419 | 430 | 430 |

資料 福祉課 福祉グループ (各年度4月1日現在)

(2) 療育手帳所持者数の推移

療育手帳所持者数は、増加傾向にあり、令和5年4月1日現在で110人となっています。C判定が最も多く、約5割（50.9%）を占めています。

図表 11 療育手帳所持者数の推移

(単位:人)

| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| A判定 | 29 | 29 | 30 | 27 | 28 |
| B判定 | 26 | 25 | 26 | 29 | 26 |
| C判定 | 52 | 55 | 54 | 51 | 56 |
| 18歳未満 | 24 | 40 | 41 | 37 | 37 |
| 18歳以上 | 83 | 69 | 69 | 70 | 73 |
| 計 | 107 | 109 | 110 | 107 | 110 |

資料 福祉課 福祉グループ (各年度4月1日現在)

(3) 精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移

精神障害者保健福祉手帳所持者数は、年々増加しており、令和5年4月1日現在で154人となっています。2級が最も多く、約6割（59.1%）を占めています。

図表 12 精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移

(単位:人)

| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1級 | 18 | 16 | 15 | 19 | 18 |
| 2級 | 63 | 73 | 80 | 86 | 91 |
| 3級 | 34 | 34 | 32 | 35 | 45 |
| 計 | 115 | 123 | 127 | 140 | 154 |

資料 福祉課 福祉グループ (各年度4月1日現在)

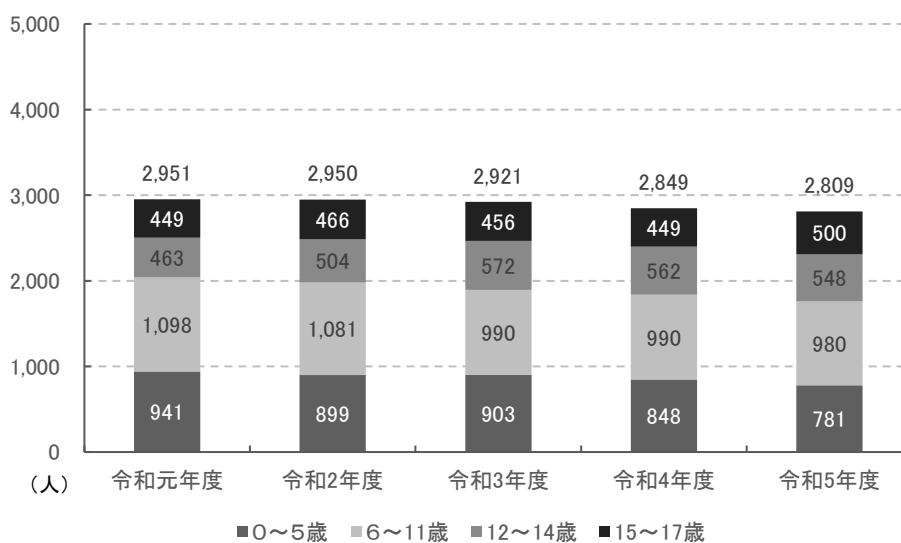
4 子どもの状況

(1) 児童人口の推移

0～17歳までの子ども人口をみると、令和元年度の2,951人から年々減少しており、令和5年度には2,809人と142人減少しています。

年齢区分別に児童人口の推移をみると、増減はあるものの、0～5歳と6～11歳は減少傾向にあり、12～14歳と15～17歳は、増加傾向にあります。

図表 13 児童人口の推移

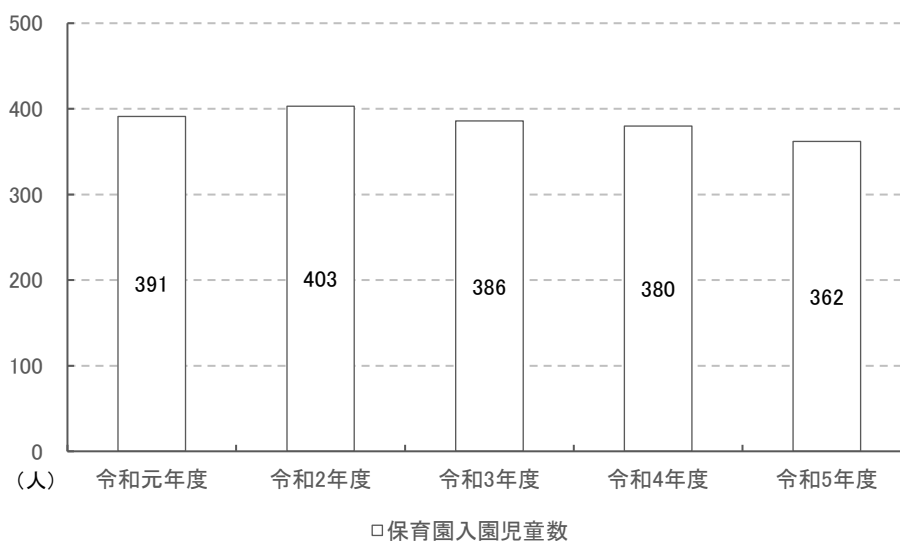


資料 住民課 住民・年金グループ (各年度4月1日現在)

(2) 入園児童数の推移

保育園の入園児童数の推移をみると、令和元年度から令和2年度にかけては増加傾向にあったものの、令和2年度をピークにそれ以降は減少傾向にあります。ピーク時の令和2年度の403人から令和5年度の362人と41人の減少になっています。

図表 14 保育園入園児童数の推移



資料 子ども応援課 子ども応援グループ（各年度4月1日現在）

5 ひとり親世帯の状況

(1) ひとり親世帯の推移

ひとり親世帯の推移は、減少傾向にあり、令和5年4月1日現在では132世帯となり、令和元年度172世帯から40世帯減少しています。また、父子世帯の割合は減少傾向にあるのに対し、母子世帯の割合は増加傾向にあります。

図表 15 ひとり親世帯(町遺児手当受給世帯)数の推移

(単位:世帯数)

| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ひとり親世帯計 | 172 | 169 | 153 | 146 | 132 |
| 母子世帯 | 163 | 158 | 145 | 138 | 126 |
| 割合(%) | 94.8 | 93.5 | 94.8 | 94.5 | 95.5 |
| 父子世帯 | 9 | 11 | 8 | 8 | 6 |
| 割合(%) | 5.2 | 6.5 | 5.2 | 5.5 | 4.5 |

資料 子ども応援課 子ども応援グループ(各年度4月1日現在)

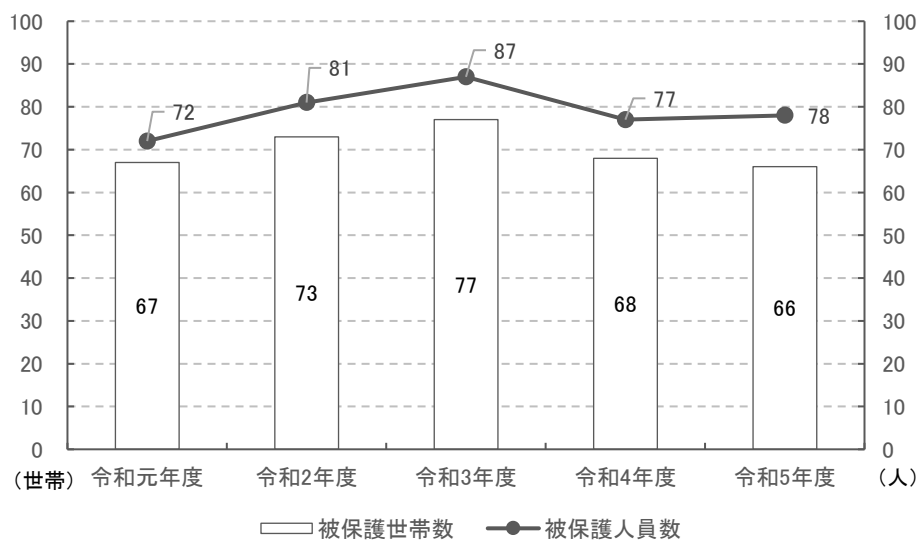
※町遺児手当:18歳到達年度の末日までの児童を監護している、ひとり親世帯及び両親のいない家庭

6 生活保護世帯の状況

(1) 生活保護の被保護人員・世帯数の推移

生活保護の状況は、令和5年4月1日現在で被保護世帯66世帯、被保護人員78人となっています。令和元年度と比べると被保護人員は微増で、被保護世帯は微減となっています。

図表 16 被保護人員・世帯数の推移



資料 福祉課 福祉グループ (各年度4月1日現在)

7 豊山町の自殺者の現状

(1) 豊山町の自殺者数の推移

豊山町に住所を有していた人の自殺者の状況をみると、過去5年間は年間5人以下で推移し、令和3年で4人となっています。

図表 17 豊山町の自殺者数の推移

(単位:人)

| | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
|---|-------|------|------|------|------|
| 男 | 1 | 2 | 2 | 3 | 0 |
| 女 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| 計 | 1 | 2 | 3 | 4 | 2 |

資料 厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

(2) 自殺死亡率の推移

自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)は、増減を繰り返していますが、令和2年と令和3年では全国及び愛知県を大きく上回っています。

図表 18 自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)の推移 ※全国と県と比較

(単位:%)

| | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 豊山町 | 6.37 | 12.68 | 19.03 | 25.25 | 12.63 |
| 愛知県 | 14.43 | 14.67 | 16.04 | 15.94 | 15.90 |
| 全国 | 16.18 | 15.67 | 16.44 | 16.44 | 17.25 |

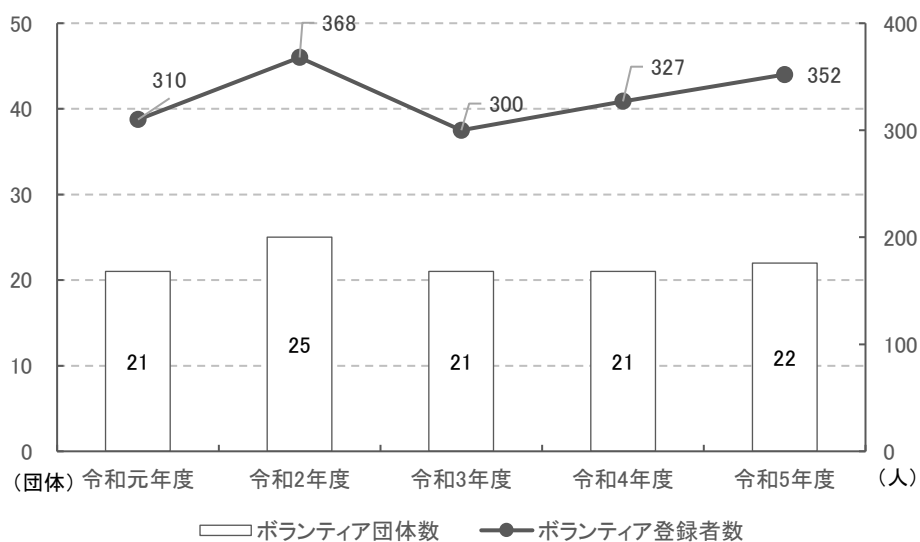
資料 厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

8 ボランティアの状況

(1) ボランティア団体数、登録者数の推移

ボランティア団体数は、増減を繰り返し、令和5年度は22団体になっています。また、ボランティア登録者数でも増減を繰り返し、令和5年度で352人になっています。

図表 19 ボランティア団体数、登録者数の推移



資料 豊山町社会福祉協議会 (各年度4月1日現在)